

2013年度 決算説明会

2014年4月25日

コマツ出席者

代表取締役社長(兼)CEO	大橋 徹二
取締役(兼)専務執行役員CFO	藤塚 主夫
常務執行役員経営管理部長	杉木 亮

16:00 開会

16:05 ご説明

①2013年度決算の概要

取締役(兼)専務執行役員 CFO 藤塚 主夫

②2014年度の業績見通し

常務執行役員 経営管理部長 杉木 亮

16:45 質疑応答

17:30 閉会

2013年度決算の概要

コマツ

取締役(兼)専務執行役員 CFO

藤塚 主夫

2013年度の概況

1. 売上・利益

- ・連結売上高は前年比+3.6%増収の1兆9,536億円。
- ・営業利益は前年比+13.7%増益の2,404億円、売上高営業利益率は同+1.1ポイント増の12.3%。

	2012年度	2013年度 []:10月公表 見通し	前年比
連結売上高	18,849億円	[18,600億円] 19,536億円	+3.6%
営業利益	2,116億円	[2,100億円] 2,404億円	+13.7%
売上高営業利益率	11.2%	12.3%	+1.1ポイント
純利益*1	1,263億円	[1,360億円] 1,595億円	+26.3%
ROE	11.5%	12.4%	+0.9ポイント
ネットD/Eレシオ (リテールファイナンス会社を除いた場合)	0.49 (0.20)	0.37 (0.08)	0.12ポイント改善 (0.12ポイント改善)

*1米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810の適用による「当社株主に帰属する当期純利益」

2. 各セグメントの状況

■ 建設機械・車両

建設機械の需要は、回復に転じた中国と、日本の伸長が寄与し、全体で前年比で増加。
鉱山機械の需要が低調に推移したものの、円安の効果が大きく、前年比増収増益。

■ 産業機械他

工作機械、板金・鍛圧機械の販売は堅調に推移したが、ワイヤーソーの需要は低迷。
ワイヤーソー在庫に係る損失を計上し、前年比減収減益。

3. 年間配当金: 58円/株 (当期純利益に対する配当性向:35%) (前期:48円/株)

中間配当金29円/株、期末配当金29円/株 *2、年間計58円/株 (*2 第145回定時株主総会に付議予定)

2013年度 連結売上高と損益

5

- ・建設機械・車両部門の売上高は、+4.3%増収の1兆7,522億円。セグメント利益は+15.9%増益の2,421億円。セグメント利益率も+1.4ポイント改善し、13.8%。
- ・産業機械他部門は減収減益。ワイヤーソー在庫に係る損失を▲108億円計上。

□: 利益率 (): 外部顧客向け売上高

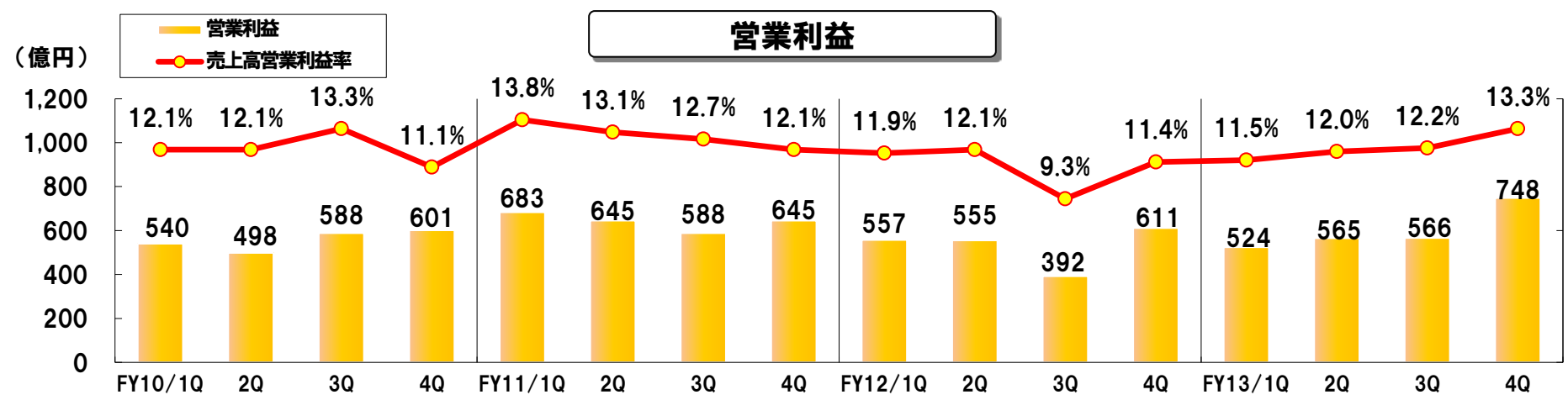
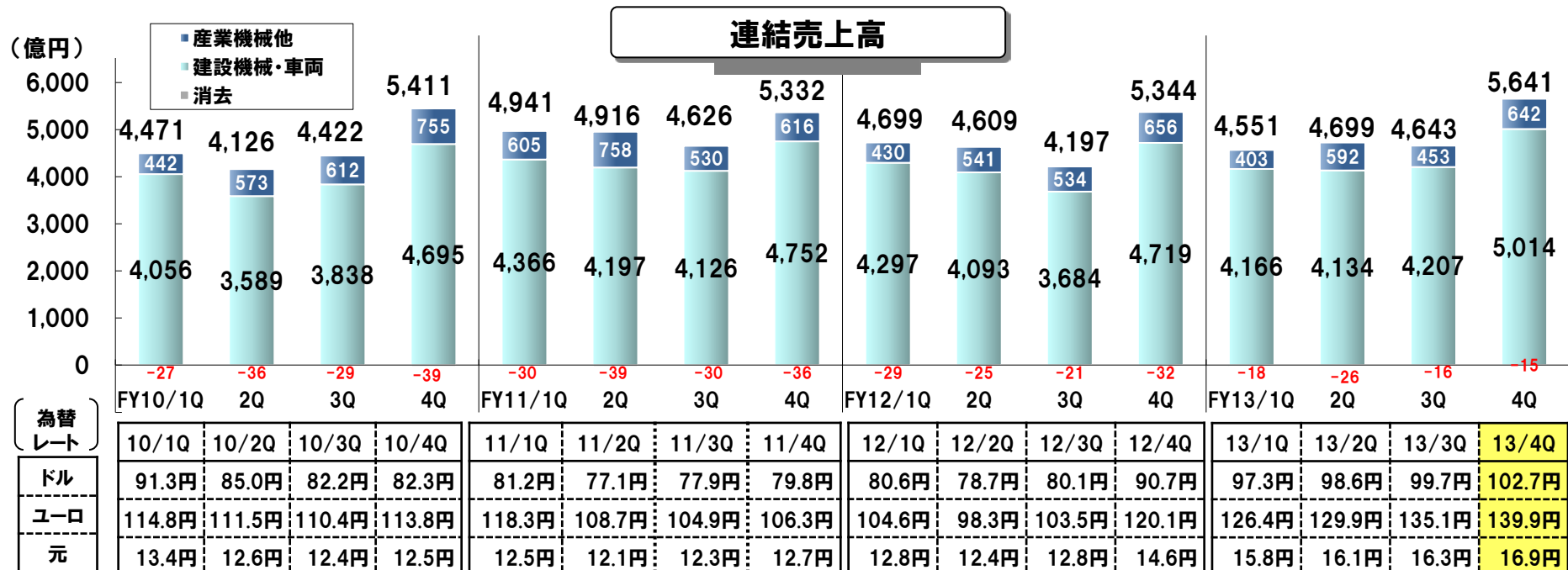
金額単位: 億円

	2012年度		2013年度見通し (10月公表値)		2013年度		前年比	
	1ドル=82.5円 1ユーロ=106.6円 1元=13.2円		1ドル=96.5円 1ユーロ=125.6円 1元=15.6円		1ドル = 99.6円 1ユーロ = 132.8円 1元 = 16.3円		増減	増減率
売上高	18,849	18,600	19,536		+686	+3.6%		
- 建設機械・車両	(16,770) 16,795	(16,630) 16,650	(17,497) 17,522		(+727) +726	(+4.3%) +4.3%		
- 産業機械他	(2,079) 2,162	(1,970) 2,030	(2,039) 2,091		(▲40) ▲71	(▲1.9%) ▲3.3%		
- 消去	▲108	▲80	▲77		+30	-		
セグメント利益	11.4% 2,140	11.3% 2,100	12.4% 2,422		+281	+13.2%		
- 建設機械・車両	12.4% 2,089	13.2% 2,200	13.8% 2,421		+331	+15.9%		
- 産業機械他	2.9% 62	▲3.4% ▲70	1.0% *1 20		▲41	▲67.2%		
- 消去または全社	▲11	▲30	▲19		▲7	-		
その他の営業収益(▲費用)	▲24	0	▲17		+7	-		
営業利益	11.2% 2,116	11.3% 2,100	12.3% 2,404		+288	+13.7%		
その他の収益(▲費用)	▲69	▲10	15		+85	-		
税引前当期純利益	2,046	2,090	2,420		+374	+18.3%		
純利益 *2	1,263	1,360	1,595		+331	+26.3%		

*1 コマツNTCにおけるワイヤーソー在庫に係る損失▲108億円を含む。

*2 米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810の適用による「当社株主に帰属する当期純利益」

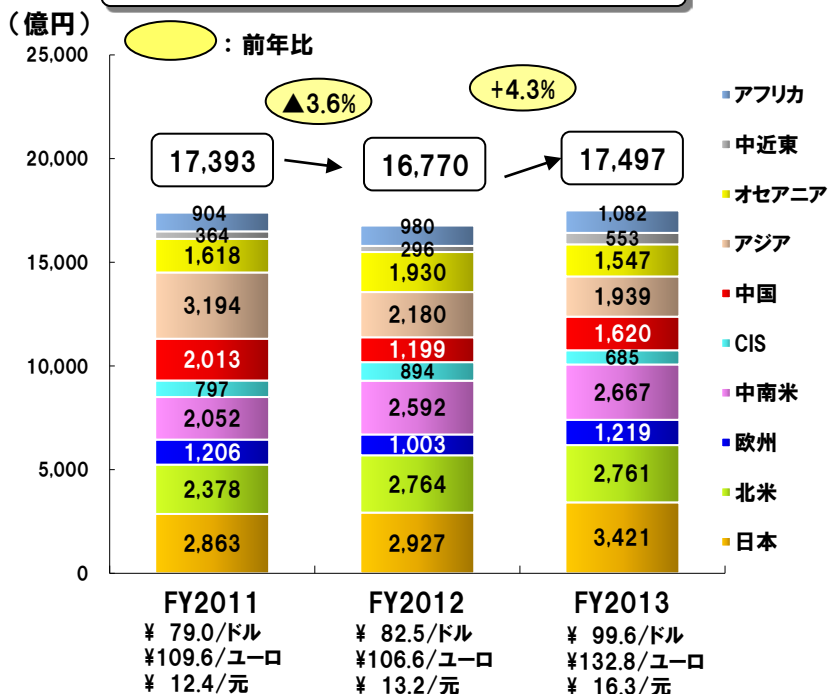
四半期毎の連結売上高と営業利益の推移



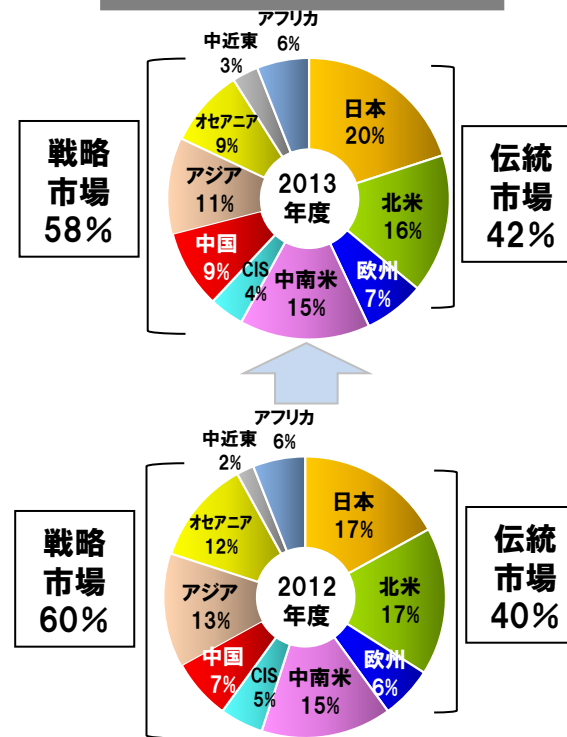
<建設機械・車両> 地域別売上高(外部顧客向け)

・鉱山機械の需要減に伴いオセアニア、アジアの構成比が減少した一方、好調な日本市場の売上増を受けて伝統市場の比率が増加。建設機械・車両部門の売上高は、前年比+4.3%増収の1兆7,497億円。

地域別売上高(外部顧客向け)



地域別売上構成比



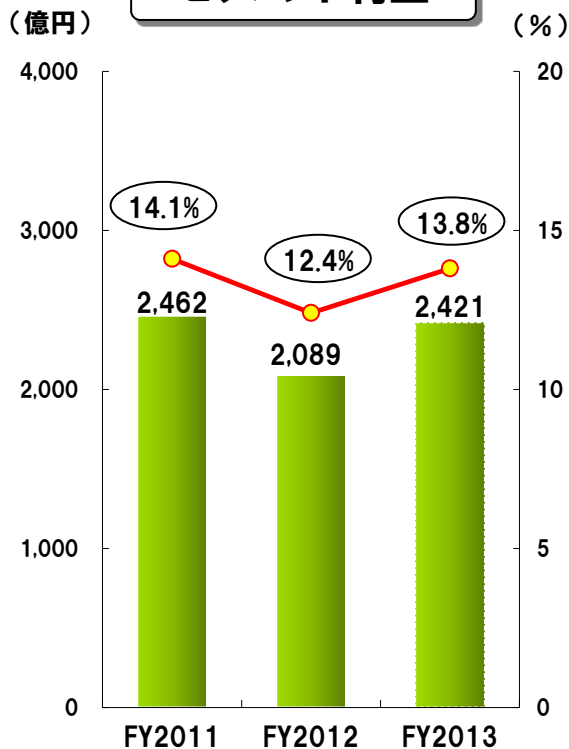
売上高伸率(前年比)

%	日本	北米	欧州	中南米	CIS	中国	アジア	オセアニア	中近東	アフリカ	合計
2012年度	+2.2%	+16.3%	+16.8%	+26.3%	+12.2%	▲40.4%	▲31.8%	+19.3%	▲18.6%	+8.3%	▲3.6%
2013年度	+16.9%	▲0.1%	+21.5%	+2.9%	▲23.4%	+35.1%	▲11.1%	▲19.9%	+86.6%	+10.4%	+4.3%

<建設機械・車両> セグメント利益・前年比増減要因

- ・需要・販売の減による物量差他▲540億円を、販売価格差、固定費差、為替差でカバーし、ネットでは前年比+332億円の増益。
- ・売上高セグメント利益率は、+1.4ポイント増の13.8%。

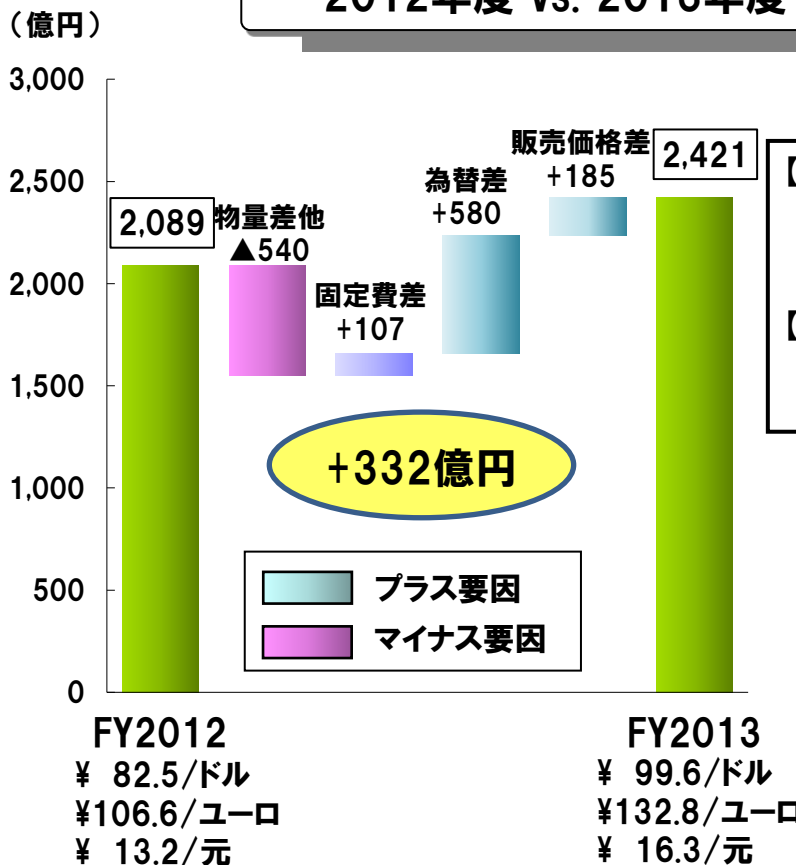
セグメント利益



○: 売上高セグメント利益率

売上高はセグメント間取引消去前ベース

2012年度 vs. 2013年度 増減要因

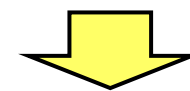


【プラス要因】

- ・販売価格差: +185億円
- ・為替差: +580億円
- ・固定費差: +107億円

【マイナス要因】

- ・物量差他: ▲540億円



合計

+332億円の増益

FY2012

¥ 82.5/ドル

¥106.6/ユーロ

¥ 13.2/元

FY2013

¥ 99.6/ドル

¥132.8/ユーロ

¥ 16.3/元

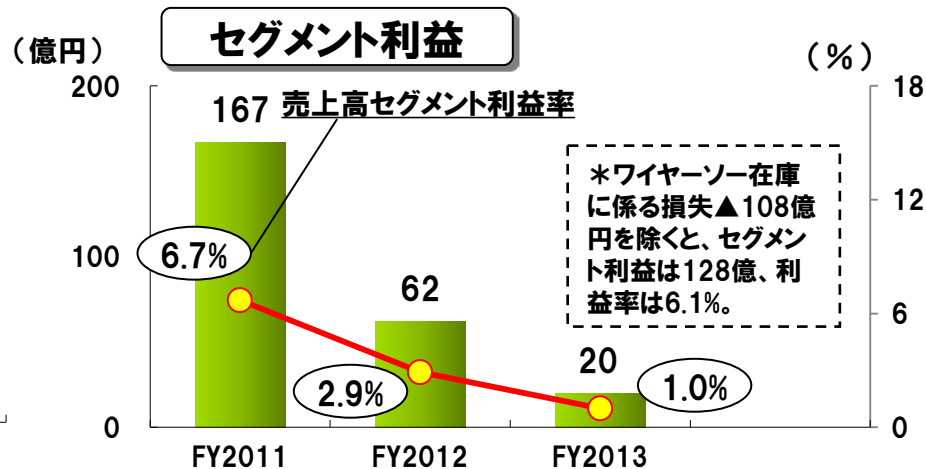
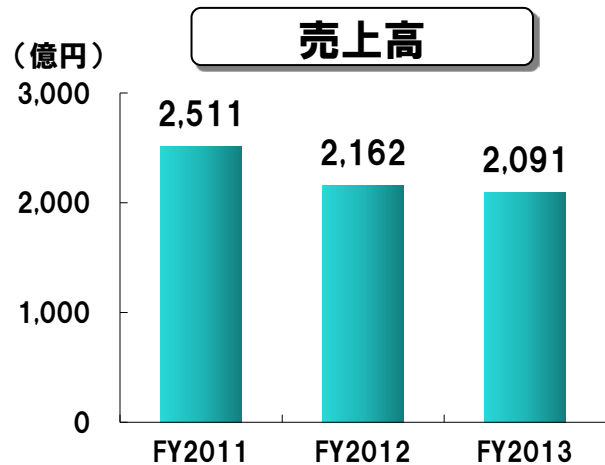
12.4%

売上高
セグメント利益率

13.8%

<産業機械他> 売上高とセグメント利益

- ・工作機械および板金・鍛圧機械の販売が底堅く推移したものの、ワイヤーソーの販売が更に落ち込んだことなどにより、売上高は2,091億円で前年比▲3.3%の減収。
- ・セグメント利益は、ワイヤーソー在庫に係る損失▲108億円を計上し、減益。



ワイヤーソー在庫に係る損失計上

2013年度
 第3Q: ▲76億円
 第4Q: ▲32億円
 年間: ▲108億円

売上高の内訳

金額単位: 億円

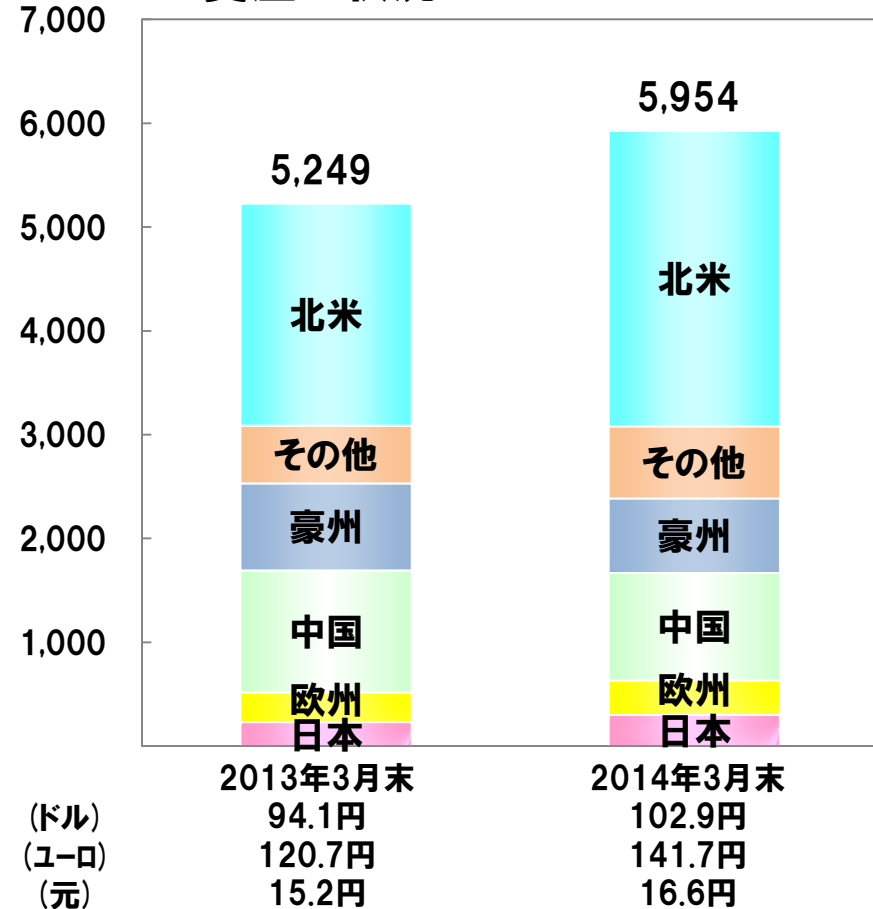
	2011年度	2012年度	2013年度	前年比	
				増減	増減率
コマツ産機等 (板金鍛圧事業合計)	466	541	545	+4	+0.7%
コマツNTC [うち、ワイヤーソー]	1,088 [465]	773 [73]	735 [58]	▲38 [▲15]	▲4.9% [▲20.5%]
その他	956	848	811	▲37	▲4.3%
[うち、ギガフオン]	[146]	[230]	[240]	[+10]	[+4.2%]
[うち、コマツハウス]	[303]	[163]	[164]	[+1]	[+0.3%]
合計	2,511	2,162	2,091	▲71	▲3.3%

リテールファイナンスの状況

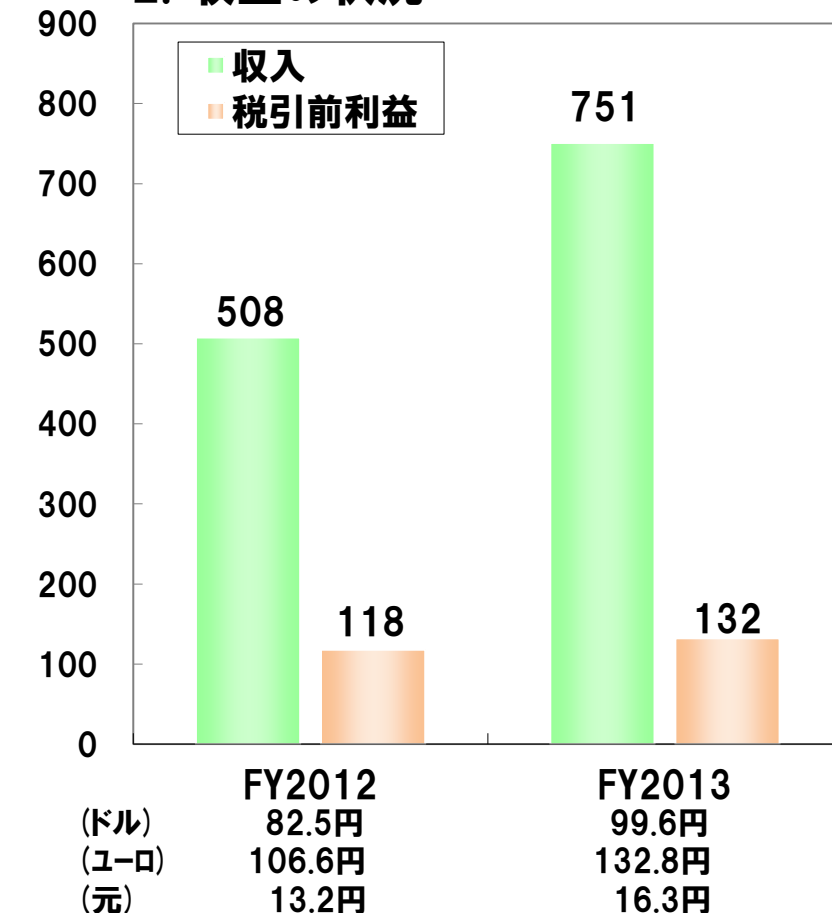
- ・資産は円安の影響に加え、北米、日本等で新規取扱が増えたことにより、前年度末比で増加。
- ・収入、税引前利益は、前年比で増収増益。

リテールファイナンス連結子会社の状況

1. 資産の状況



2. 収益の状況



連結貸借対照表

- ・総資産は、為替レートが円安となったこと等により前年度末比で+1,336億円増加。
- ・株主資本比率は同+4.5ポイント増の51.9%。ネットD/Eレシオは0.37と、前年度末に比べ改善。

ネットD/Eレシオ	金額単位:億円	2013年3月末 1ドル = 94.1円 1ユーロ = 120.7円 1元 = 15.2円	2014年3月末 1ドル = 102.9円 1ユーロ = 141.7円 1元 = 16.6円	増減
現金・預金(含む定期預金) [a]		938	911	▲26
受取手形・売掛金(含む長期売上債権) ＜除くリテールファイナンス会社＞		8,427 <4,143>	8,782 <4,363>	+355 <+220>
棚卸資産		6,336	6,250	▲85
有形固定資産		5,852	6,673	+821
その他資産		3,624	3,897	+273
資産合計		25,178	26,515	+1,336
支払手形・買掛金		2,262	2,342	+79
借入金・社債 [b] ＜除くリテールファイナンス会社＞		6,797 <2,981>	6,050 <1,786>	▲746 <▲1,195>
その他の負債		3,591	3,711	+120
負債合計		12,651	12,104	▲547
(株主資本比率)		(47.4%)	(51.9%)	(+4.5ポイント)
株主資本		11,931	13,763	+1,831
非支配持分		595	647	+52
負債及び純資産合計		25,178	26,515	+1,336
ネットベースの借入金・社債 [b-a]		0.49 5,859	0.37 5,139	▲720
ネットD/Eレシオ(リテールファイナンス会社を除いた場合)		0.20	0.08	

2014年度業績見通し

コマツ
常務執行役員 経営管理部長
杉木 亮

2014年度の業績見通し（概要）

13

1. 売上・損益

- ・売上高は前年比▲3.8%減収の1兆8,800億円、営業利益は同+1.0%増益の2,430億円を見込む。
- ・売上高営業利益率は+0.6ポイント改善し、12.9%の見通し。

	2013年度	2014年度見通し	前年比
連結売上高	19,536億円	18,800億円	▲3.8%
営業利益	2,404億円	2,430億円	+1.0%
売上高営業利益率	12.3%	12.9%	+0.6ポイント
純利益 *1	1,595億円	1,540億円	▲3.5%
ROE	12.4%	11.0%	▲1.4ポイント
ネットD/Eレシオ (リテールファイナンス会社を除いた場合)	0.37 (0.08)	0.30 (0.00)	0.07ポイント改善 (0.08ポイント改善)

*1 米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810の適用による「当社株主に帰属する当期純利益」

2. 各セグメントの状況

■ 建設機械・車両

- ・主要7建機の世界需要は微減となり、鉱山機械の需要もさらに減少する見込みのため、前年比減収減益の見通し。

■ 産業機械他

- ・プレス機械、工作機械の販売が堅調に推移し、前年比で増収増益となる見通し。

3. 配当金

- 1株当たり年間配当金は、58円を見込む。
(当期純利益に対する配当性向は36%)

*は見通し	2013年度	2014年度	増減
中間	29円	29円*	±0円*
期末	29円	29円*	±0円*
合計	58円	58円*	±0円*

2014年度の業績見通し

14

- ・建設機械・車両部門は減収減益。セグメント利益率は+0.3ポイント改善し、14.1%の見通し。
- ・産業機械他部門は増収増益の見通し。
- ・売上高営業利益率は前年比+0.6ポイント改善し、12.9%の見通し。

	利益率 ():外部顧客向け売上高		金額単位:億円	
	2013年度 1ドル=99.6円 1ユーロ=132.8円 1元=16.3円	2014年度見通し 1ドル=100円 1ユーロ=137円 1元=16.2円	増減	増減率
売上高	19,536	18,800	▲736	▲3.8%
- 建設機械・車両	(17,497) 17,522	(16,620) 16,650	(▲877) ▲872	(▲5.0%) ▲5.0%
- 産業機械他	(2,039) 2,091	(2,180) 2,220	(+140) +128	(+6.9%) +6.1%
- 消去	▲77	▲70	+7	-
セグメント利益	12.4% 2,422	13.0% 2,450	+27	+1.2%
- 建設機械・車両	13.8% 2,421	14.1% 2,350	▲71	▲2.9%
- 産業機械他	1.0% *1 20	5.4% 120	+99	+488.8%
- 消去または全社	▲19	▲20	▲0	-
その他の営業収益(▲費用)	▲17	▲20	▲2	-
営業利益	12.3% 2,404	12.9% 2,430	+25	+1.0%
その他の収益(▲費用)	15	▲60	▲75	-
税引前当期純利益	2,420	2,370	▲50	▲2.1%
純利益 *2	1,595	1,540	▲55	▲3.5%
1株当たり配当金(円)	58円	58円	±0円	

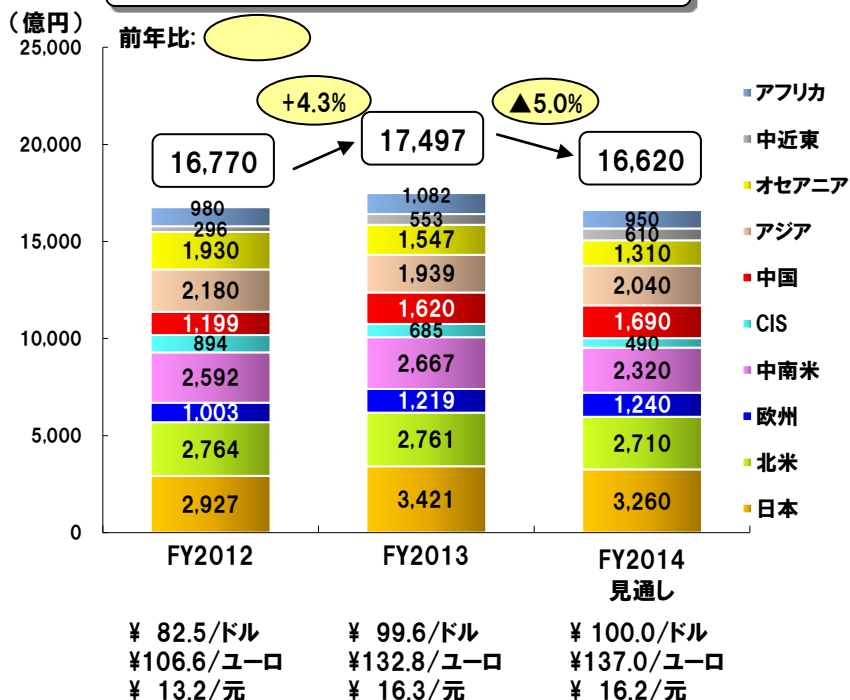
*1 コマツNTCにおけるワイヤーソー在庫に係る損失▲108億円を含む。

*2 米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810の適用による「当社株主に帰属する当期純利益」

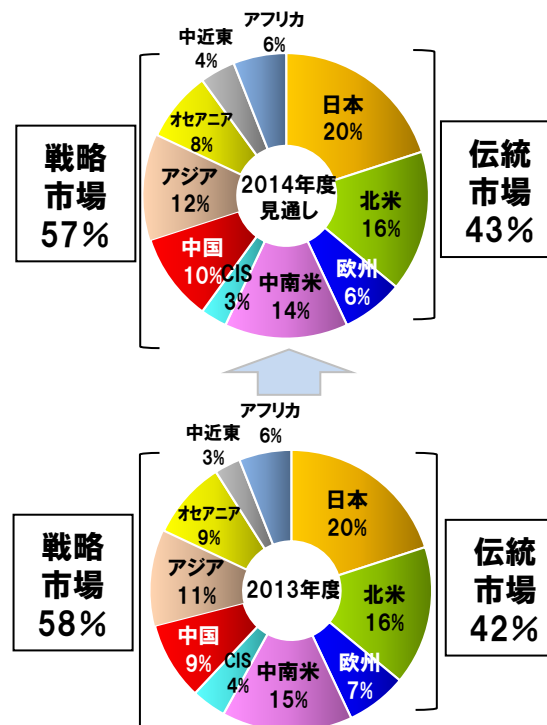
<建設機械・車両> 地域別売上高(外部顧客向け)の見通し

- ・鉱山機械の需要・販売が減少する影響が大きく、前年比▲5.0%減収の見通し。
- ・地域別にも鉱山機械の比率の大きい地域が大きく減少。
- ・地域別の構成比は、伝統市場の比率が更に上がって、43%となる見通し。

地域別売上高(外部顧客向け)



地域別売上構成比



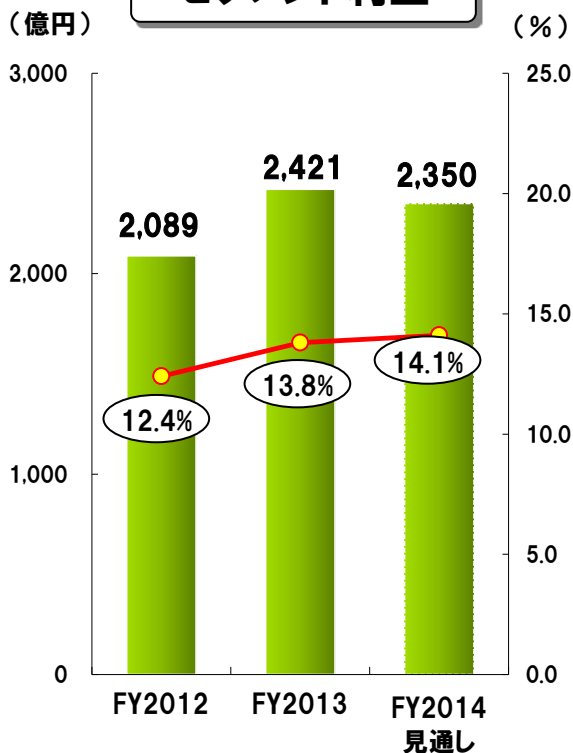
売上高伸率(前年比)

%	日本	北米	欧州	中南米	CIS	中国	アジア	オセアニア	中近東	アフリカ	合計
2013年度	+16.9%	▲0.1%	+21.5%	+2.9%	▲23.4%	+35.1%	▲11.1%	▲19.9%	+86.6%	+10.4%	+4.3%
2014年度見通し	▲4.7%	▲1.9%	+1.7%	▲13.0%	▲28.5%	+4.3%	+5.2%	▲15.3%	+10.1%	▲12.3%	▲5.0%

<建設機械・車両> セグメント利益の見通し 前年比増減要因

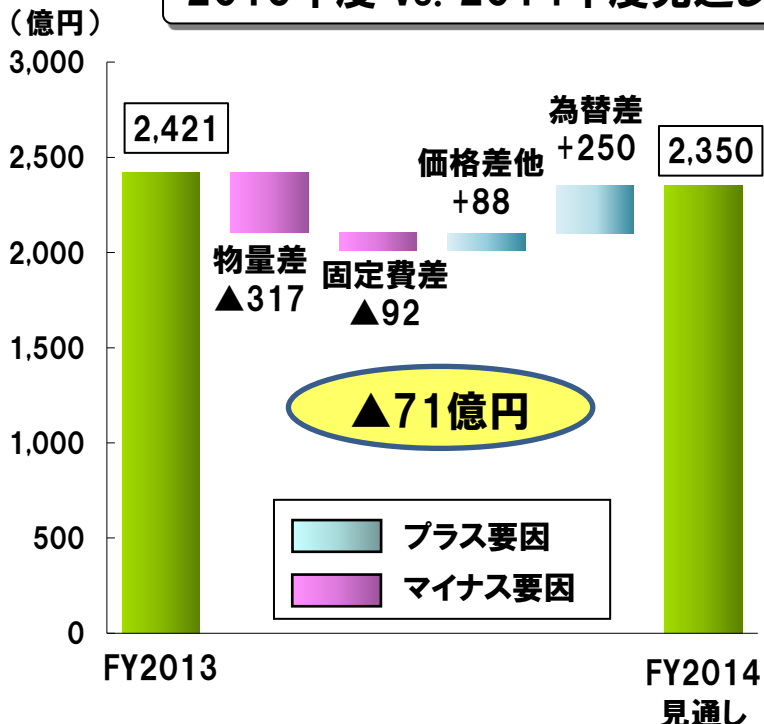
- ・セグメント利益は前年比▲2.9%減益の2,350億円、セグメント利益率は同+0.3ポイント改善し、14.1%の見通し。
- ・主に鉱山機械の需要減による物量減と固定費の増加によるマイナス影響を、価格・原価の改善、為替差によりカバーするが、前年比▲71億円減益の見通し。

セグメント利益



○ : 売上高セグメント利益率
売上高はセグメント間取引消去前ベース

2013年度 vs. 2014年度見通し 増減要因



- | 【プラス要因】 | |
|----------|--------|
| ・価格差他: | +88億円 |
| ・為替差: | +250億円 |
| 【マイナス要因】 | |
| ・物量差: | ▲317億円 |
| ・固定費差: | ▲92億円 |



合計
▲71億円の減益

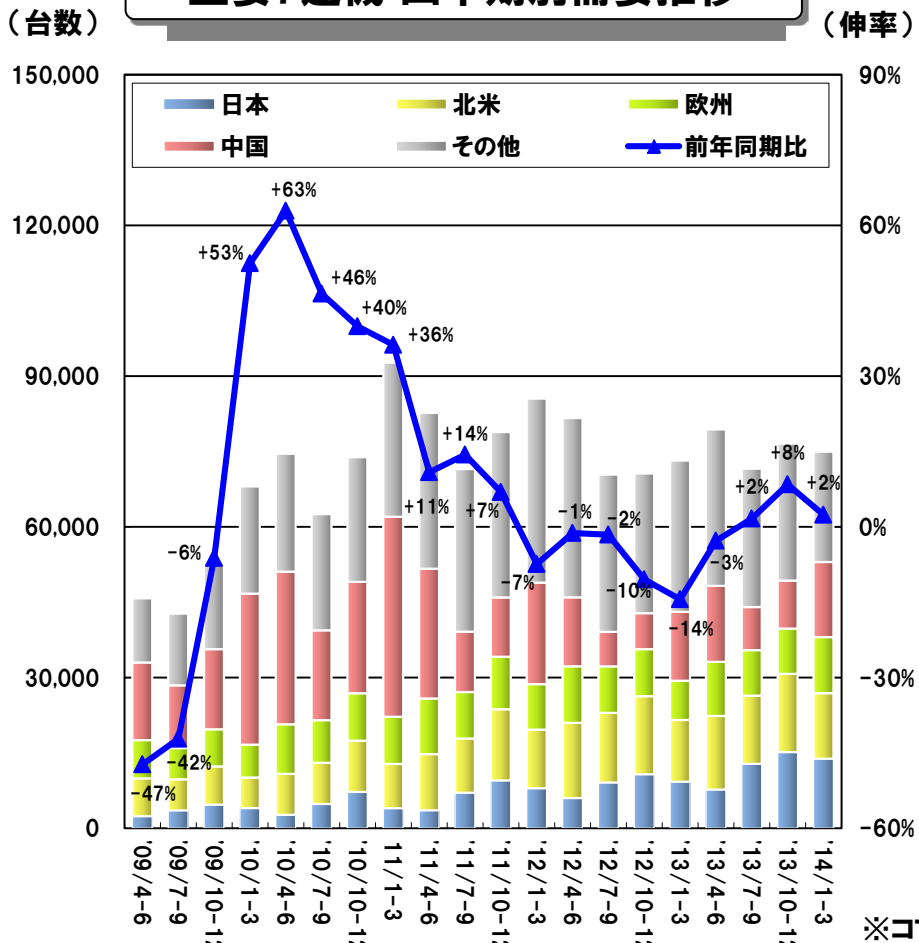
¥ 99.6/ドル	¥ 100/ドル
¥132.8/ユーロ	¥137/ユーロ
¥ 16.3/元	¥ 16.2/元

13.8% — 売上高セグメント利益率 — 14.1%

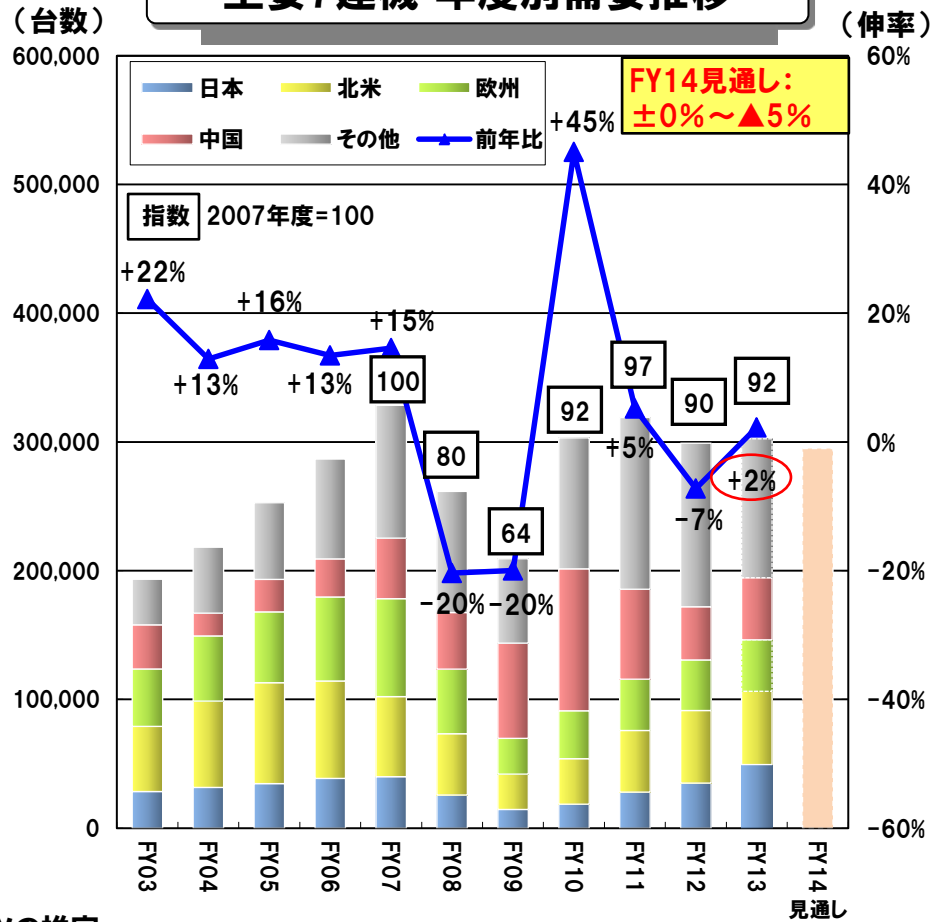
<建設・鉱山機械> 主要7建機需要推移と見通し

- ・2013年度の需要は、中国の需要が底打ちしたことと、日本の需要が大きく拡大したことにより、前年比+2%の増加。
- ・2014年度は、需要が伸びる地域もあるが、日本の減少が大きく、全体の需要は前年比±0%~▲5%の見通し。

主要7建機 四半期別需要推移



主要7建機 年度別需要推移

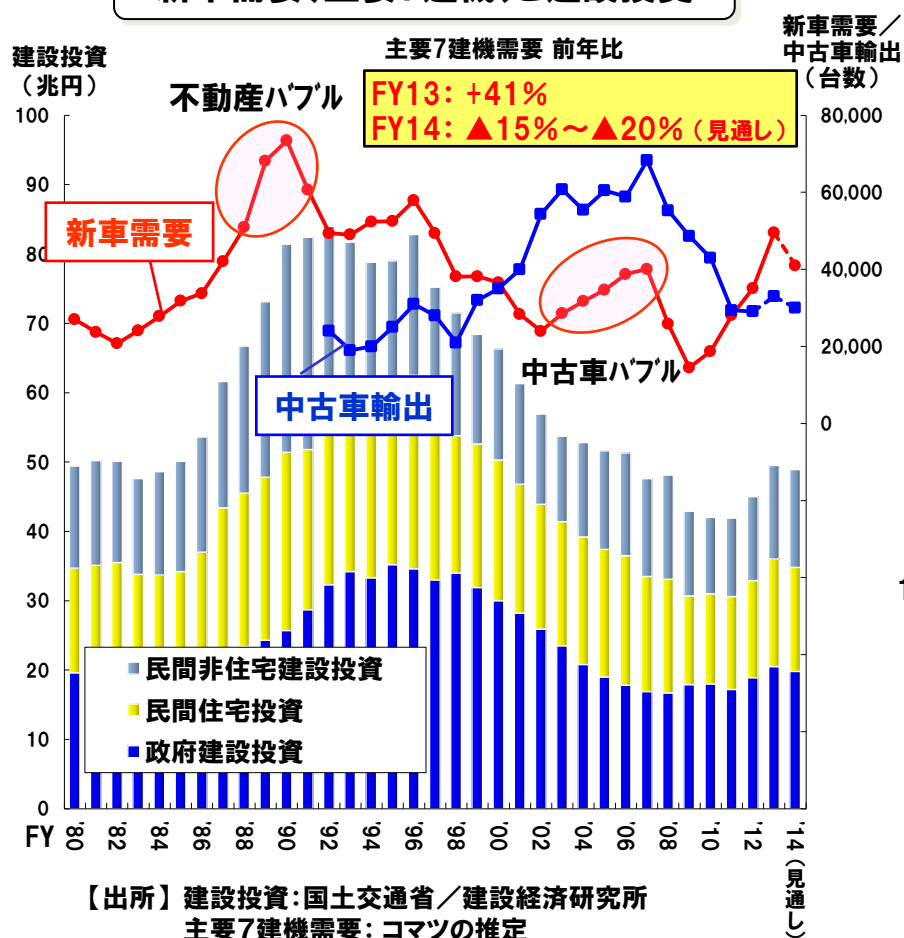


FY14見通し:
±0%~▲5%

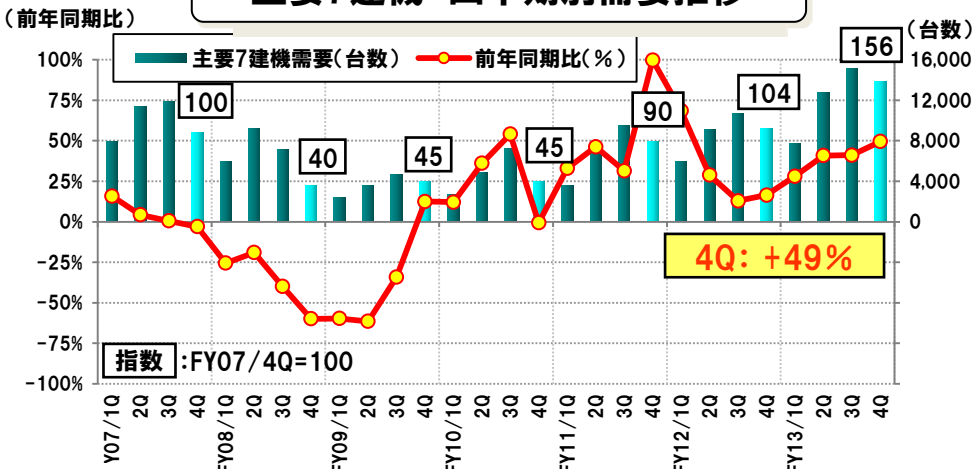
＜建設・鉱山機械＞ 主要市場の需要推移と見通し：①日本

- ・2013年度の需要は、建設投資の増加、震災復興工事本格化によるレンタル向け需要を中心に、前年比+41%と大幅な伸び。
- ・2014年度の需要は、レンタル向け需要が一巡することから、前年比▲15%～▲20%の見通し。

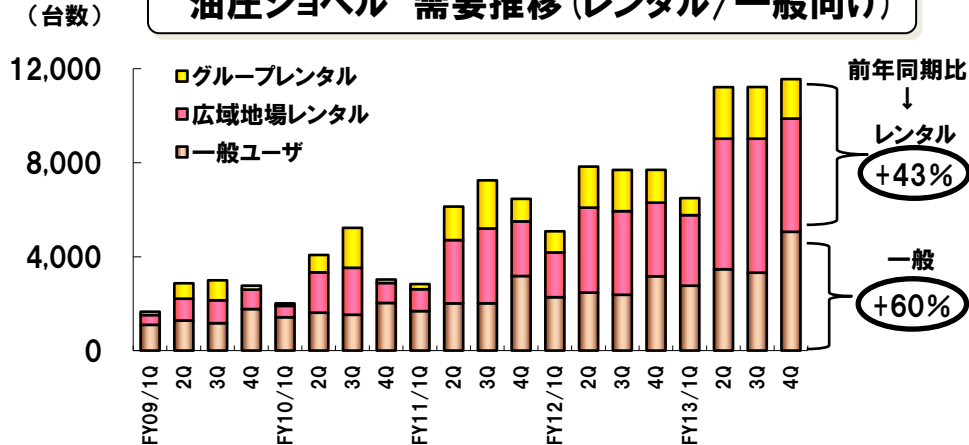
新車需要(主要7建機)と建設投資



主要7建機 四半期別需要推移



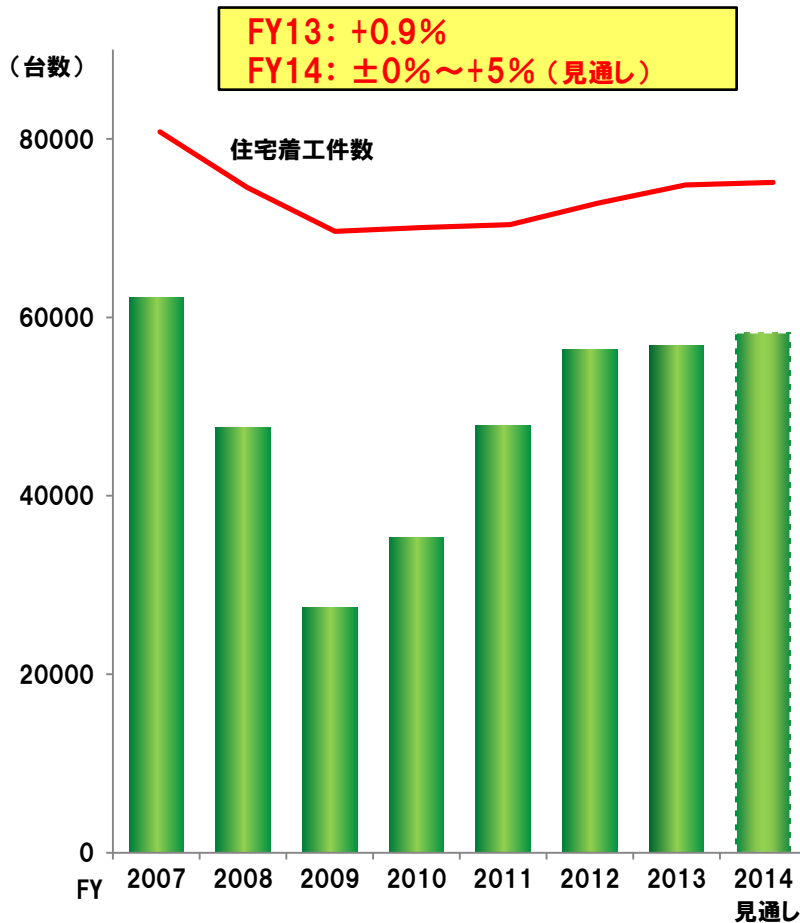
油圧ショベル 需要推移(レンタル/一般向け)



＜建設・鉱山機械＞ 主要市場の需要推移と見通し：②北米

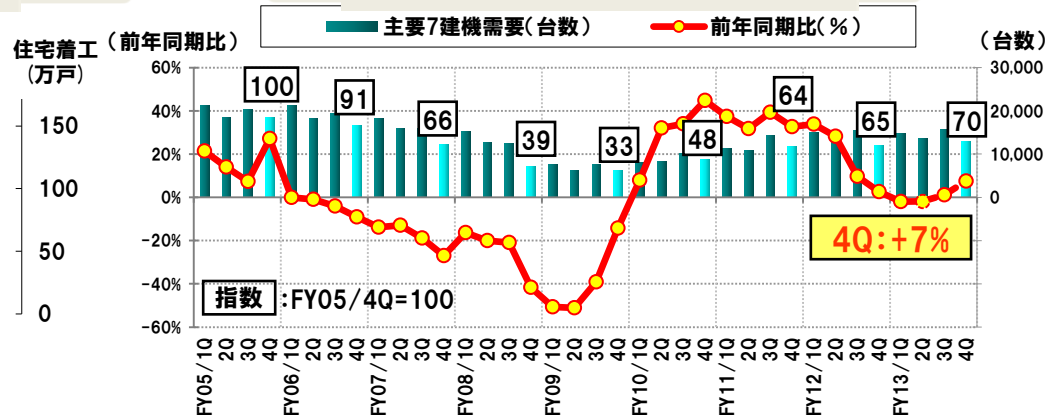
- ・2013年度は、2012年度のレンタル向け更新需要が一巡した一方、インフラ向け需要が伸長し、前年並みの需要。
- ・2014年度の需要は、住宅着工が引き続き高い水準で推移する中、一般向けの需要が堅調と見込まれ、前年比±0%～+5%の見通し。

主要7建機 需要推移と住宅着工件数

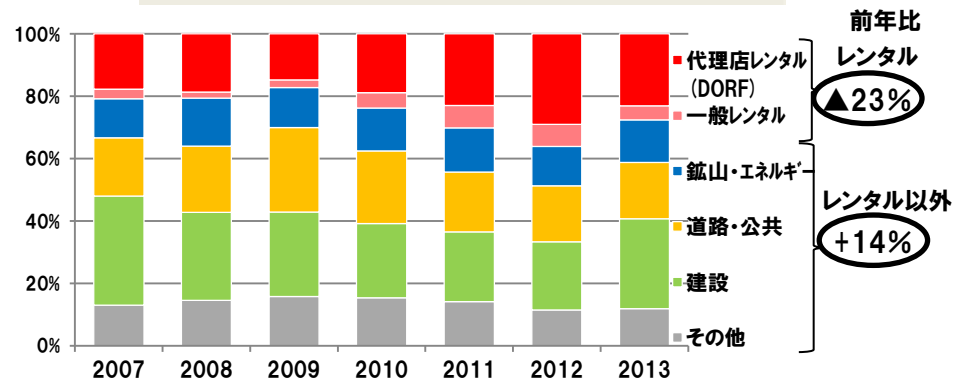


【出所】 主要7建機需要:コマツの推定

主要7建機 四半期需要推移



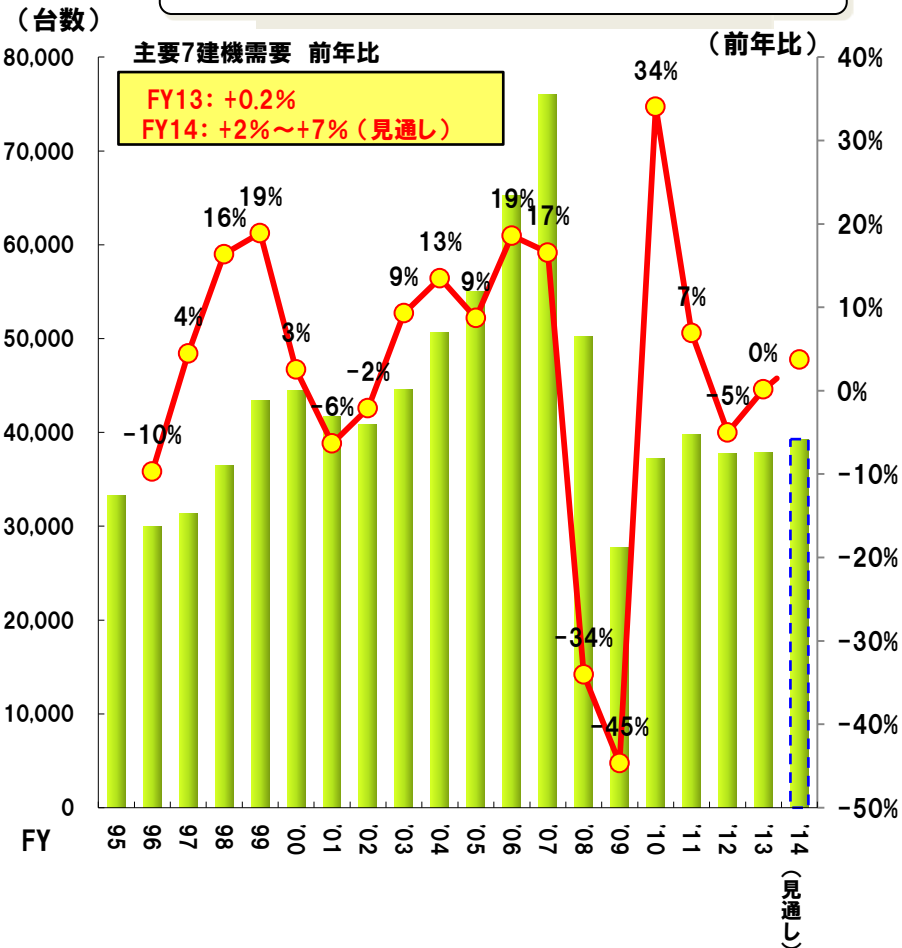
セグメント別需要構成比 (台数ベース)



＜建設・鉱山機械＞ 主要市場の需要推移と見通し: ③ 欧州

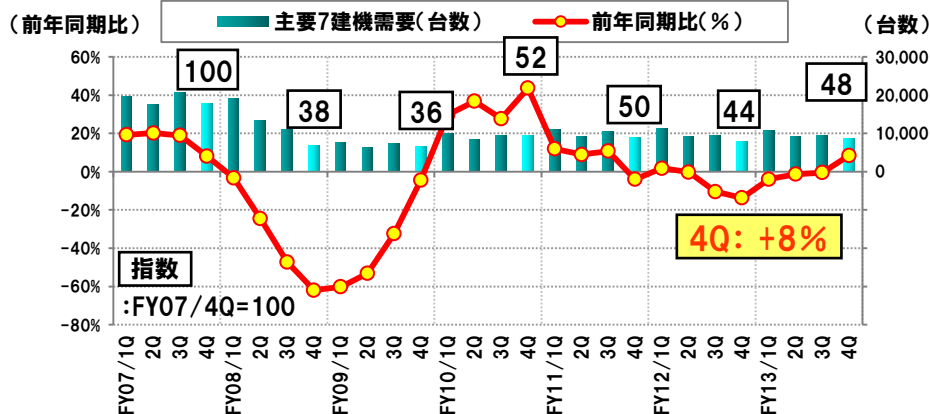
- ・2013年度の需要は、ほぼ前年並み(前年比+0.2%)。
- ・2014年度の需要は、経済の回復に対応して増加(+2%~+7%)を見込む。

主要7建機 年度別需要推移

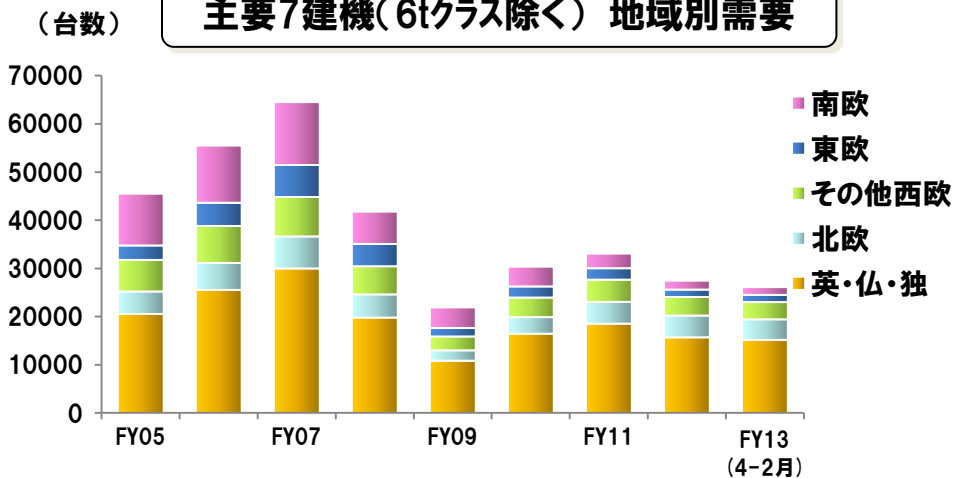


*主要7建機需要:コマツの推定

主要7建機 四半期需要推移



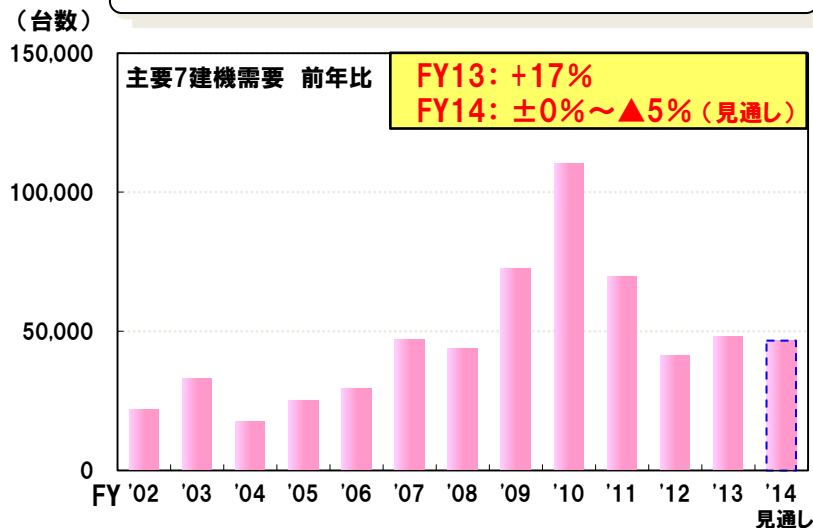
主要7建機(6tクラス除く) 地域別需要



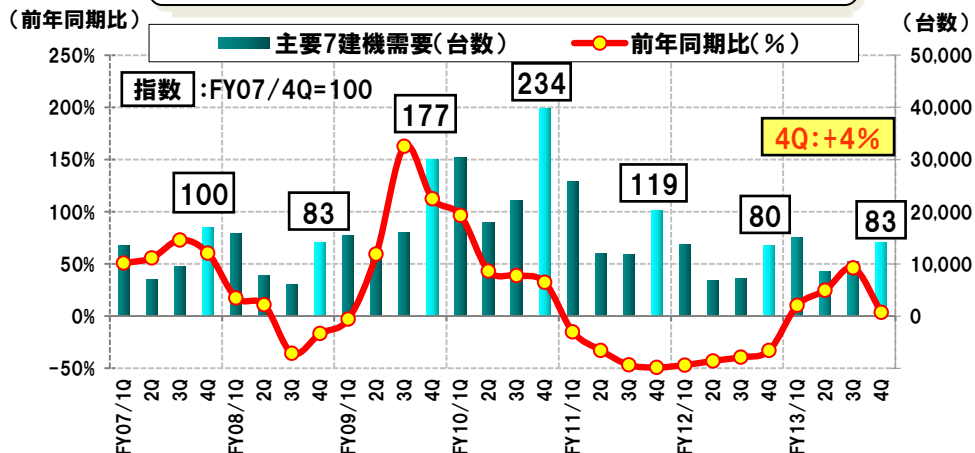
<建設・鉱山機械> 主要市場の需要推移と見通し: ④中国

- ・2011年度から落ち込んでいた需要は、本年1月の春節(旧正月)以降に一部減速は見られたものの、回復に転じ伸長。年間では前年比+17%。
- ・2014年度の需要は、前年比±0%~▲5%の見通し。

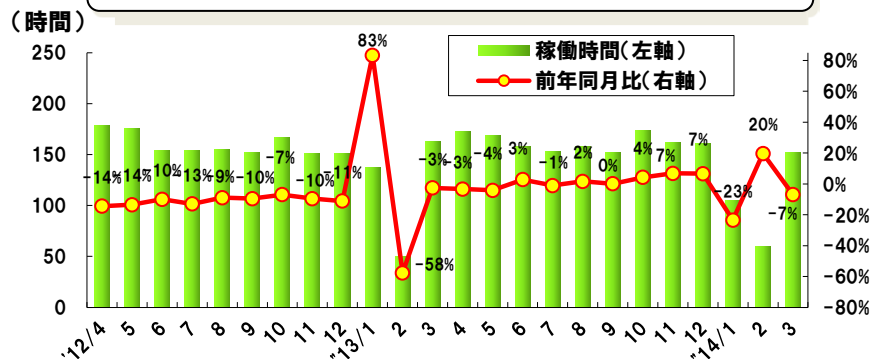
主要7建機 年度別需要推移 (外資メカ)



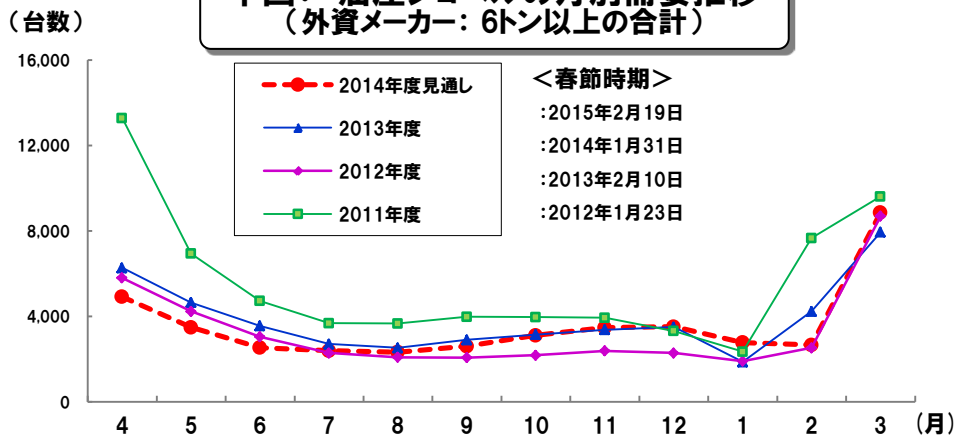
主要7建機 四半期需要推移 (外資メカ)



KOMTRAX(中国) 月平均稼働時間推移



中国: 油圧ショベルの月別需要推移 (外資メーカー: 6トン以上の合計)



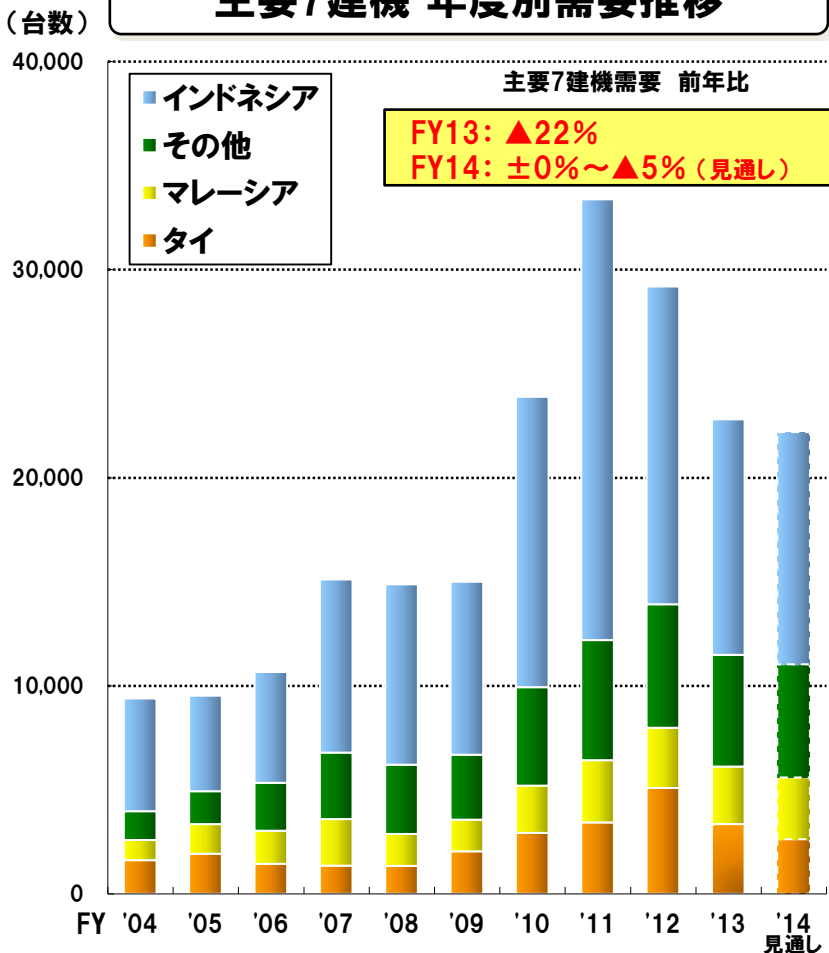
*主要7建機・油圧ショベル需要: コマツの推定

<建設・鉱山機械> 主要市場の需要推移と見通し: ⑤東南アジア

・2013年度の需要は、最大市場のインドネシアでの落ち込みに加え、タイ等でも需要が減少し、前年比▲22%。
▲22%。

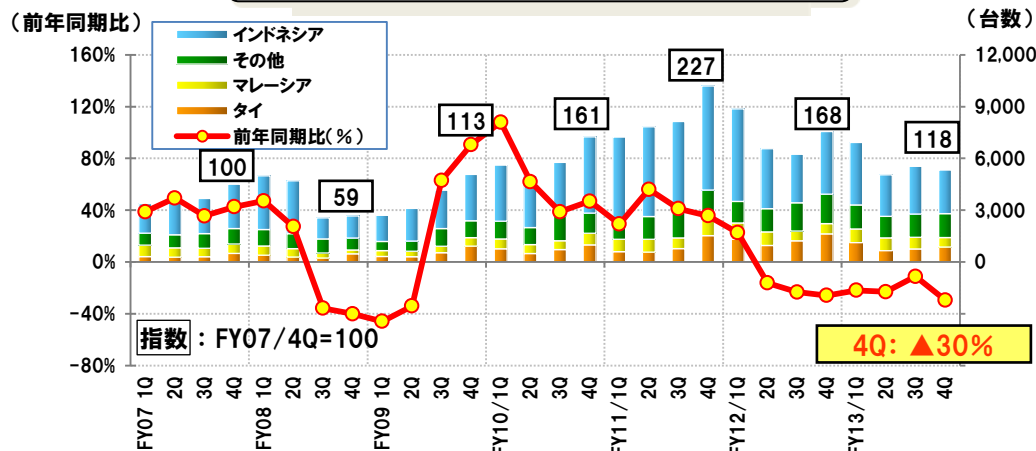
・2014年度の需要は、インドネシアでは前年レベルを想定するが、タイの落ち込み等もあり前年比で±0%~▲5%の見通し。

主要7建機 年度別需要推移

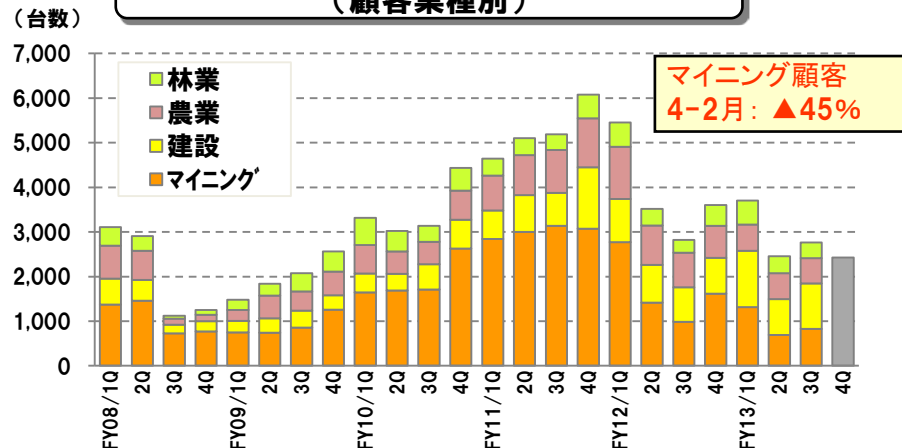


※需要:コマツの推定

主要7建機 四半期需要推移



インドネシア: 建設・鉱山機械需要推移 (顧客業種別)



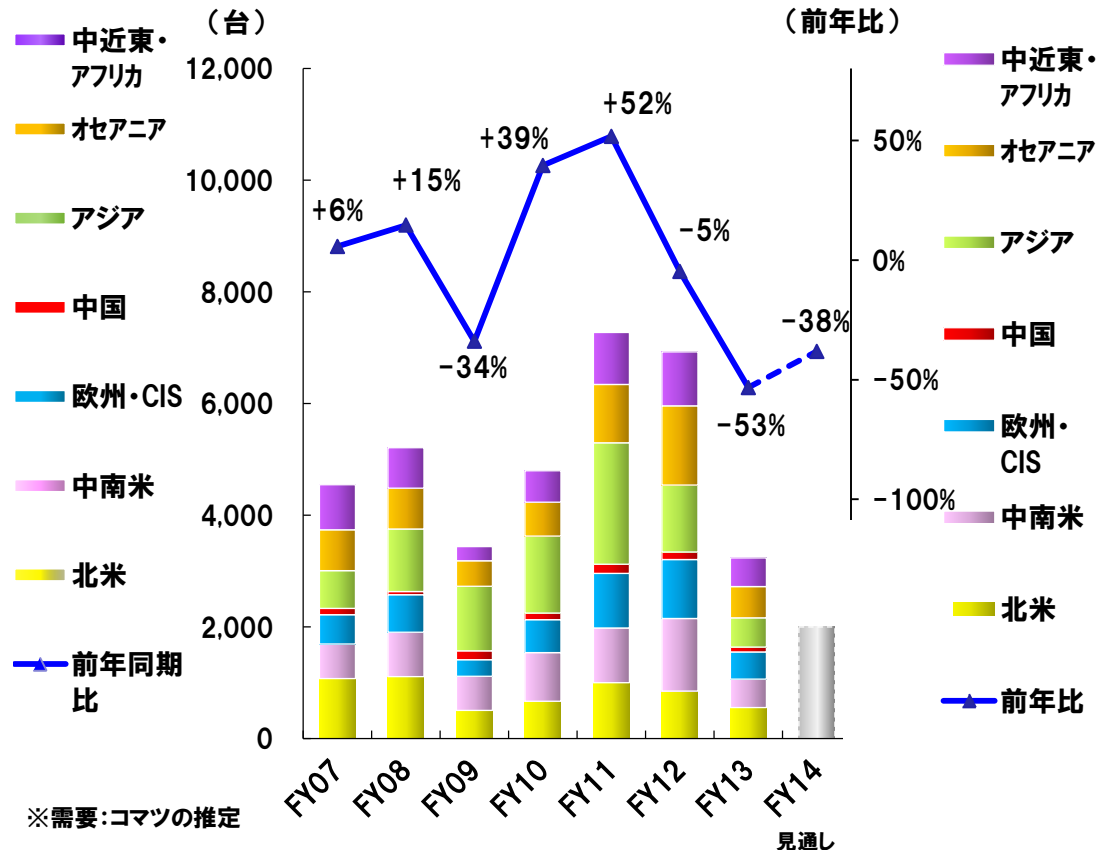
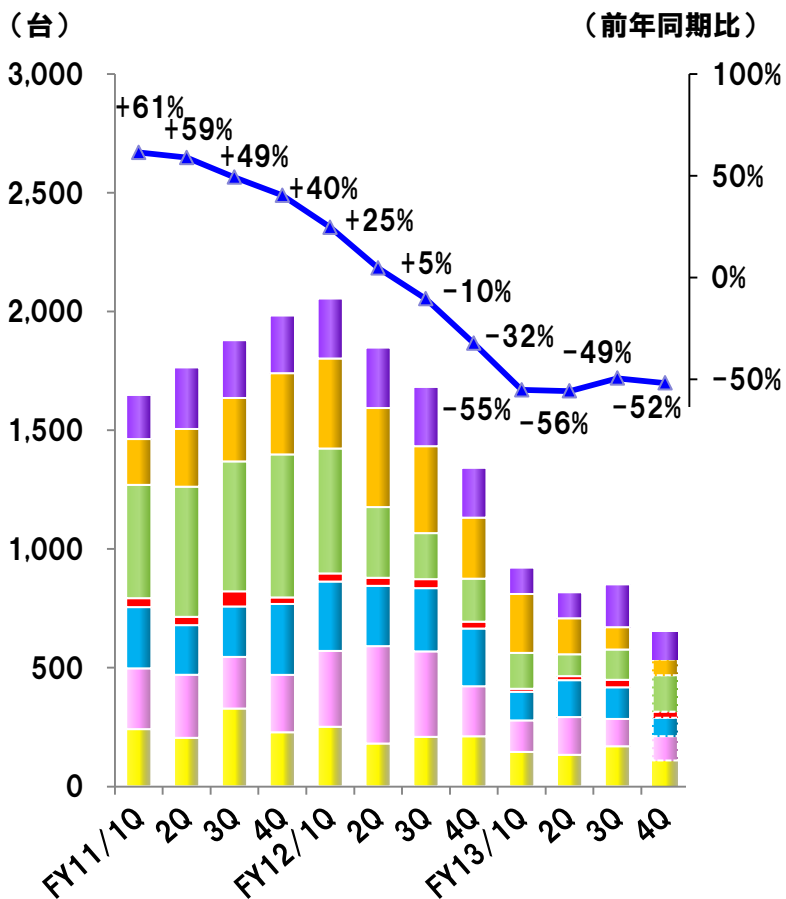
<建設・鉱山機械> 鉱山機械の需要推移と見通し

・鉱山機械の世界需要は、2012年度第3四半期から前年同期比マイナスが継続。2013年第4四半期も▲52%となり、2013年度年間では▲53%のマイナス。
 ・2014年度の需要も、前年比▲38%と更に落ちこむ見通し。

鉱山機械 四半期別需要推移

鉱山機械 年度別需要推移

・ダンプトラック: 75t (HD785) 以上
 ・フルドーザー: 525HP (D375) 以上
 ・エクスカベータ: 200t (PC2000) 以上
 ・ホイールローダー: 810HP (WA800) 以上
 ・モータグレーダー: 280HP (GD825) 以上



※需要: コマツの推定

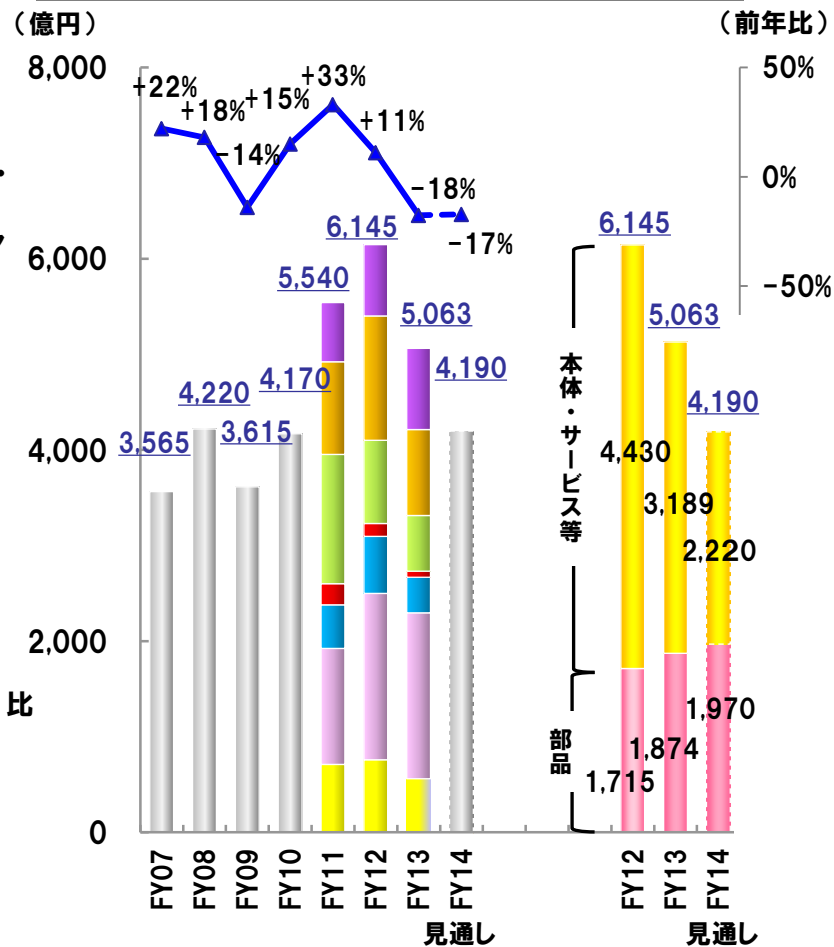
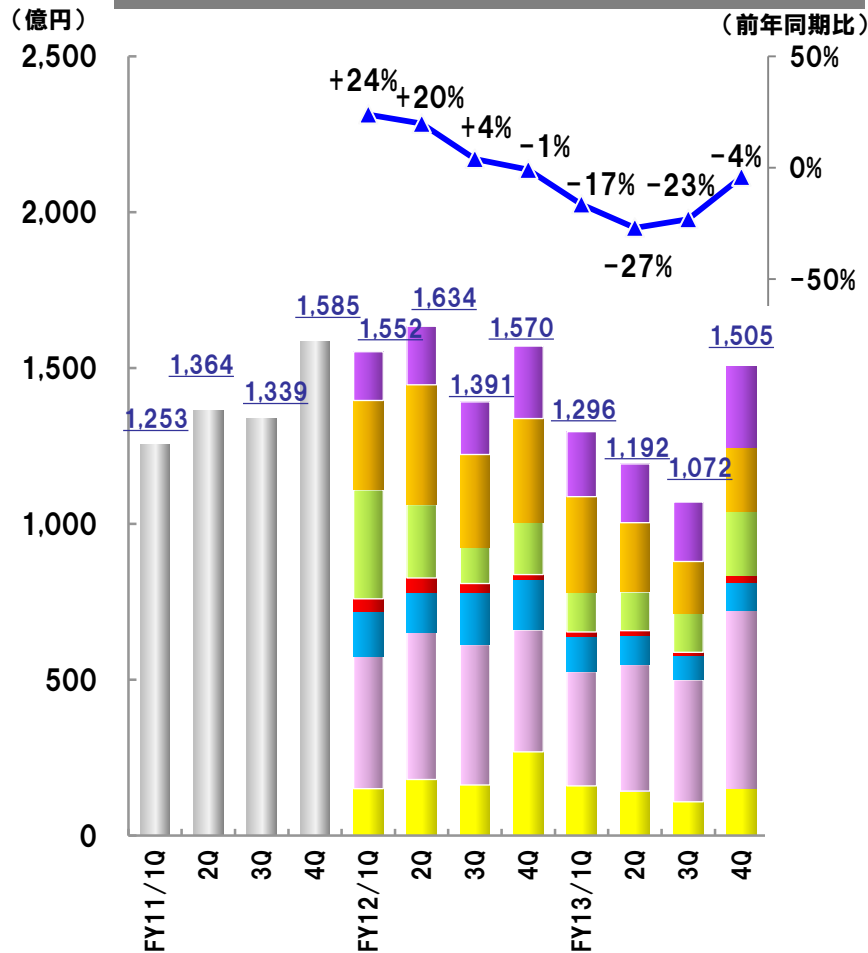
見通し

<建設・鉱山機械> 鉱山機械の売上高

・需要の低迷により、鉱山機械の売上高は四半期で前年同期比マイナスが継続。2013年度年間としては前年比▲18%の減収。
 ▲18%の減収。
 ・2014年度通期売上見通しは、前年比▲17%の4,190億円の見通し。

鉱山機械 四半期別売上高 (部品・サービス含む)

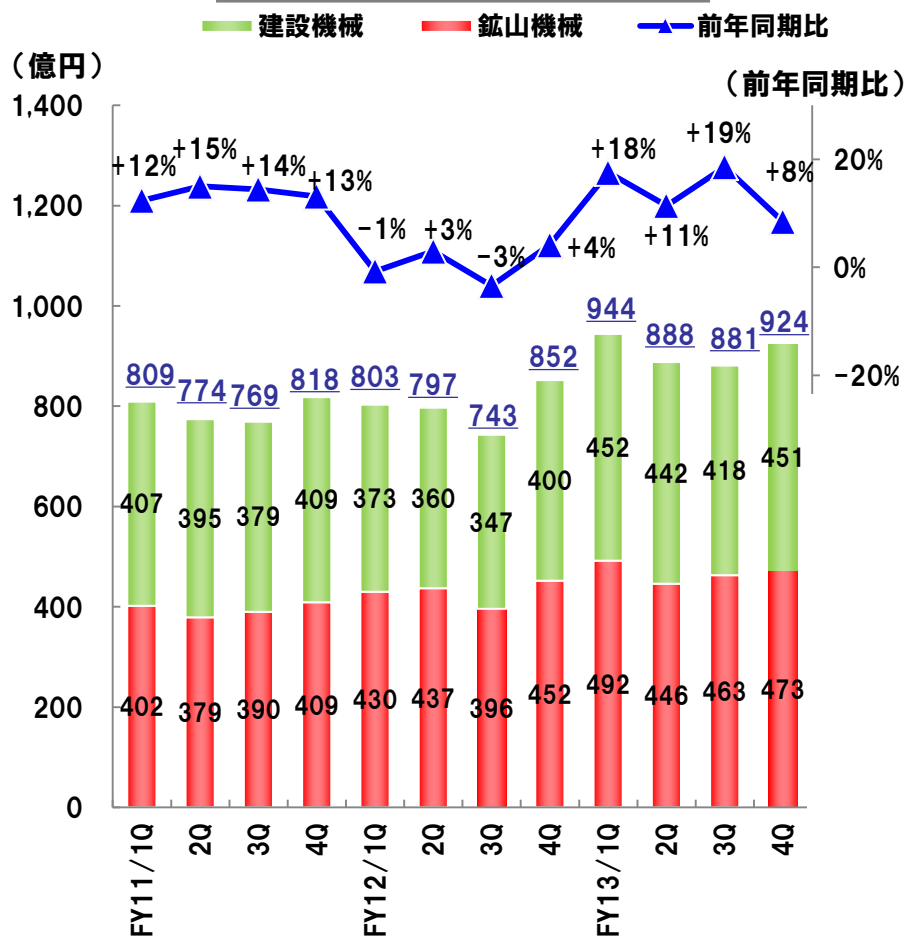
鉱山機械 年度別売上高 (部品・サービス含む)



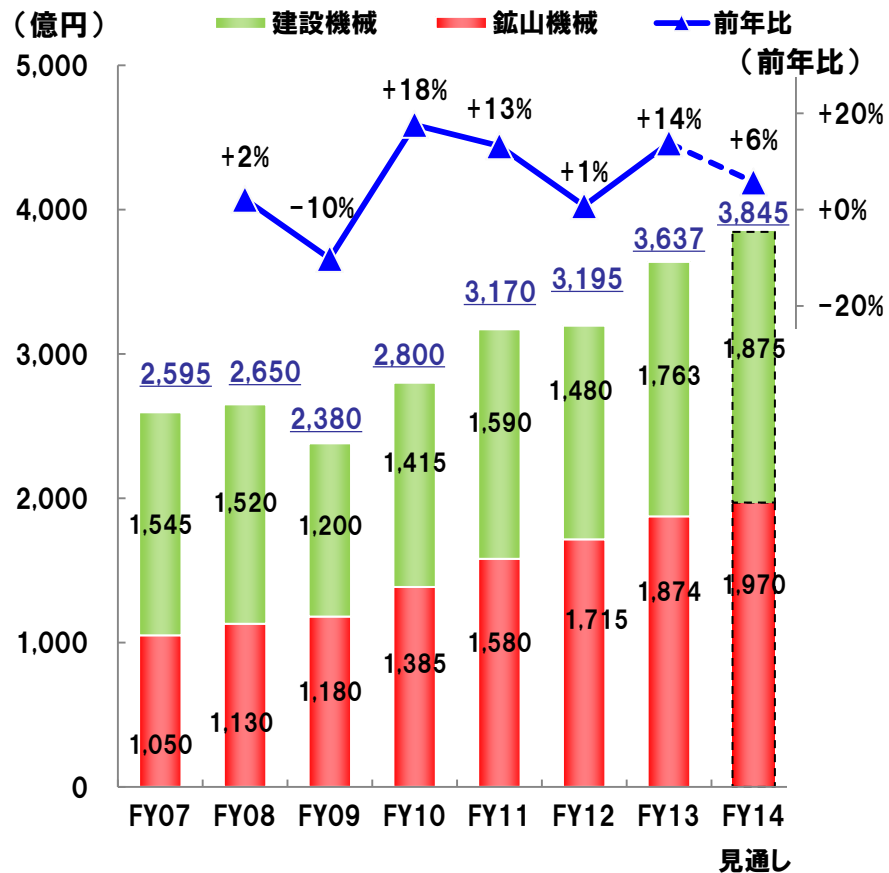
<建設・鉱山機械> 部品の売上高

- ・第4四半期の部品売上高は、前年同期比+8%。年間では対前年+14%の増収。
- ・2014年度の売上高は、前年比+6%増収の見通し。

四半期別 部品売上高推移

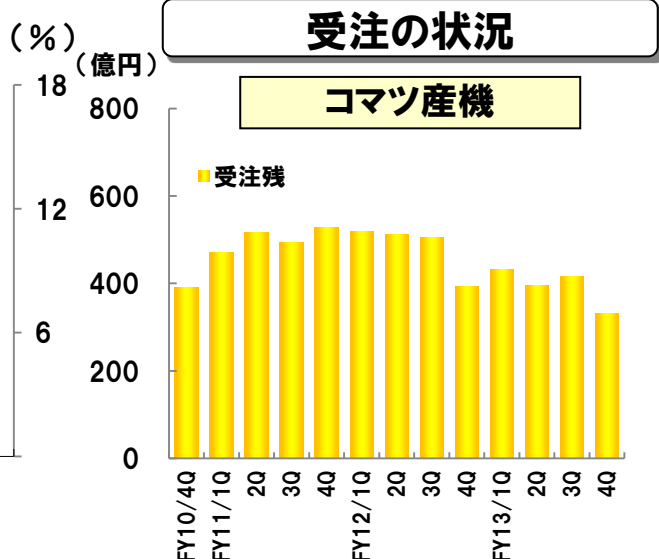
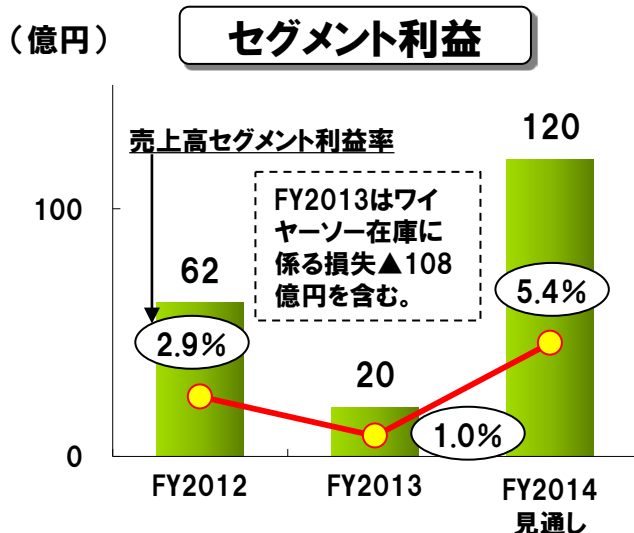
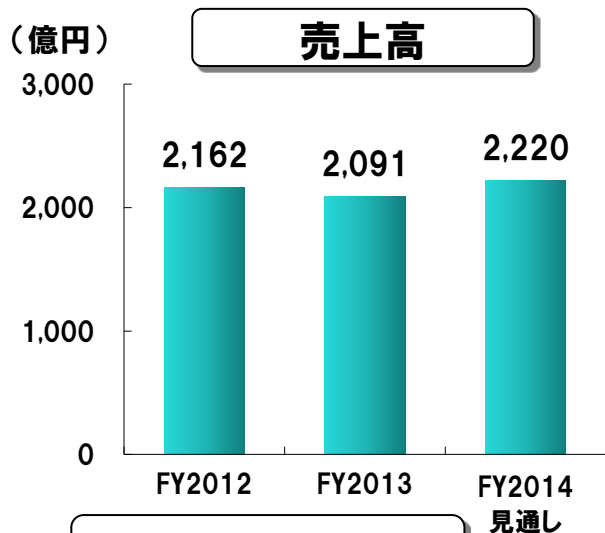


部品売上高



<産業機械他> 売上高とセグメント利益の見通し

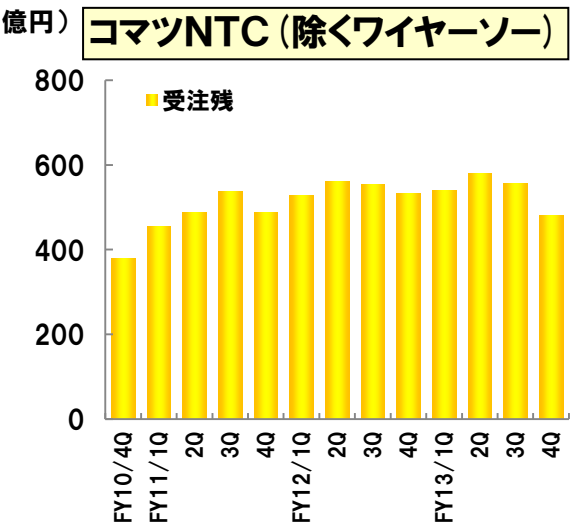
・2014年度は、プレス機械、工作機械の販売は堅調に推移し、売上高は前年比+6.1%増収の2,220億円、セグメント利益は120億円の見通し。



売上高の内訳

金額単位: 億円 (億円)

	FY2012	FY2013	FY2014 見通し	前年比	
				増減	増減率
コマツ産機等 (板金鍛圧事業合計)	541	545	601	+56	+10.3%
コマツNTC [うち、ワイヤーソー]	773 [73]	735 [58]	815 [56]	+80 [▲2]	+11.0% [▲3.0%]
その他 [うち、ギガフオン] [うち、コマツハウス]	848 [230] [163]	811 [240] [164]	804 [256] [165]	▲7 [+16] [+1]	▲1.1% [+6.8%] [+0.9%]
合計	2,162	2,091	2,220	+128	+6.1%

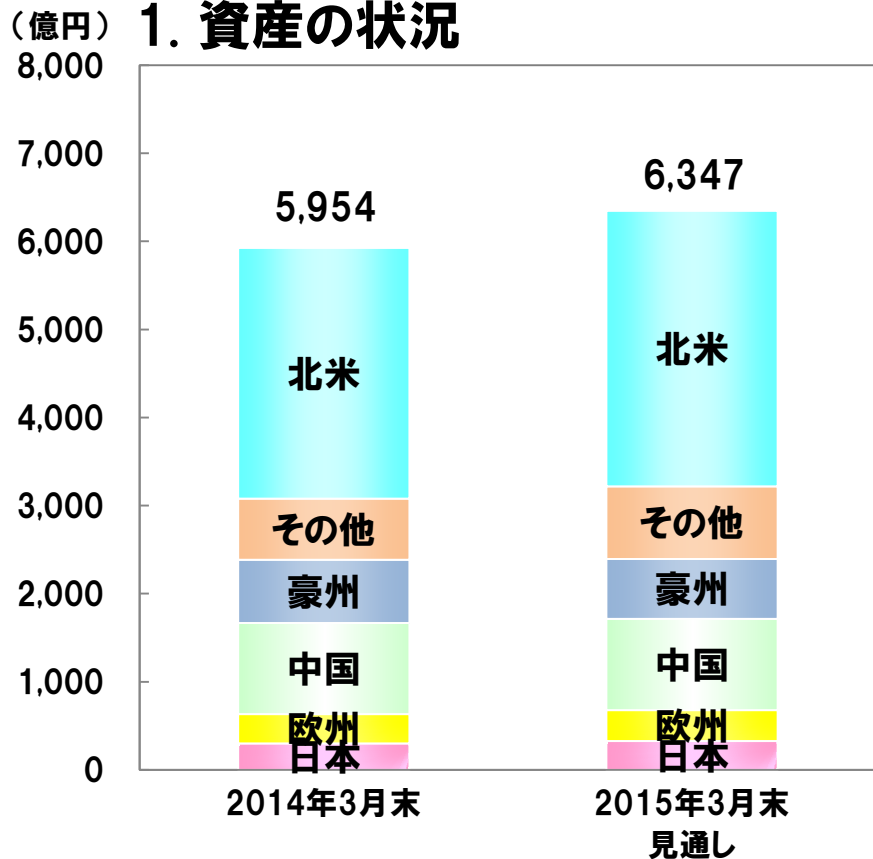


リテールファイナンスの見通し

- ・資産は、主に北米での新規取組の増加により、前年度末比で増加の見通し。
- ・収益では、マイニング案件の減少等で収入は減少するが、利益は若干増加の見通し。

リテールファイナンス連結子会社の状況

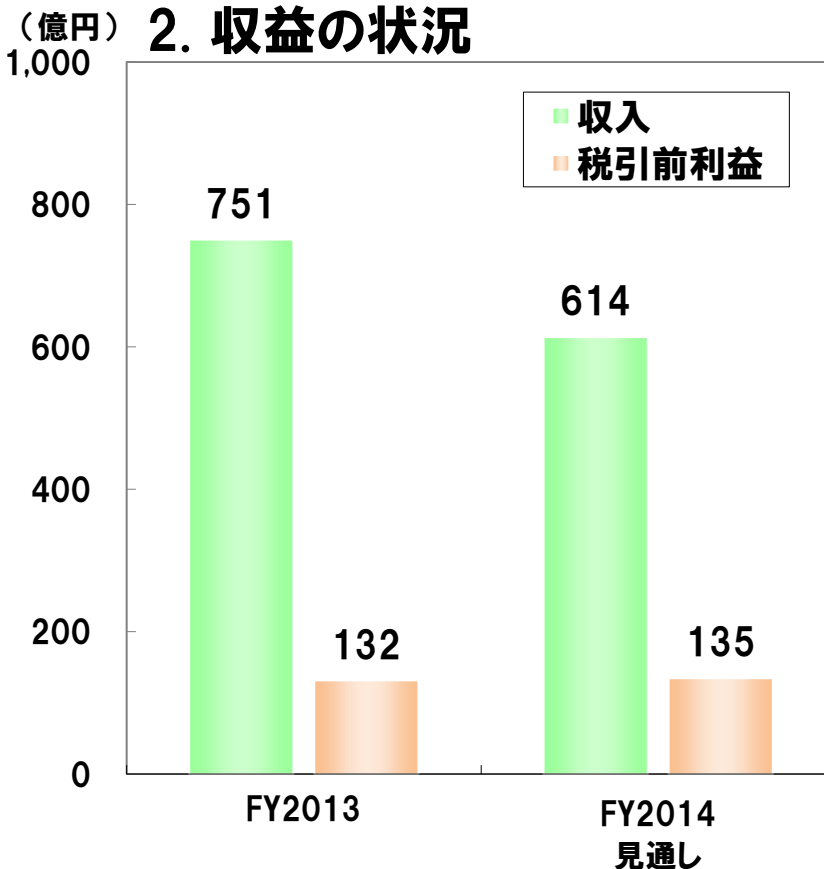
1. 資産の状況



(ドル) 102.9円
(ユーロ) 141.7円
(元) 16.6円

100.0円
137.0円
16.2円

2. 収益の状況



(ドル) 99.6円
(ユーロ) 132.8円
(元) 16.3円

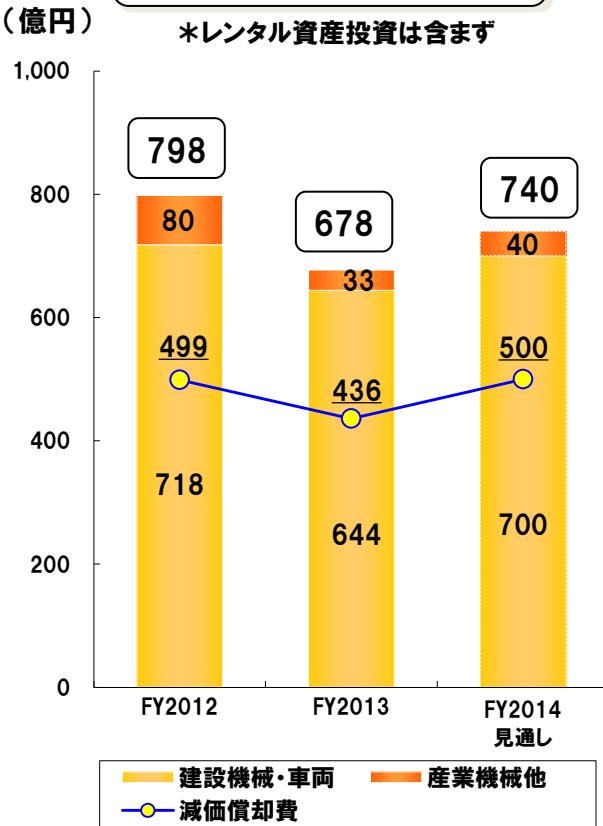
100.0円
137.0円
16.2円

設備投資・減価償却費・研究開発費・固定費の見通し

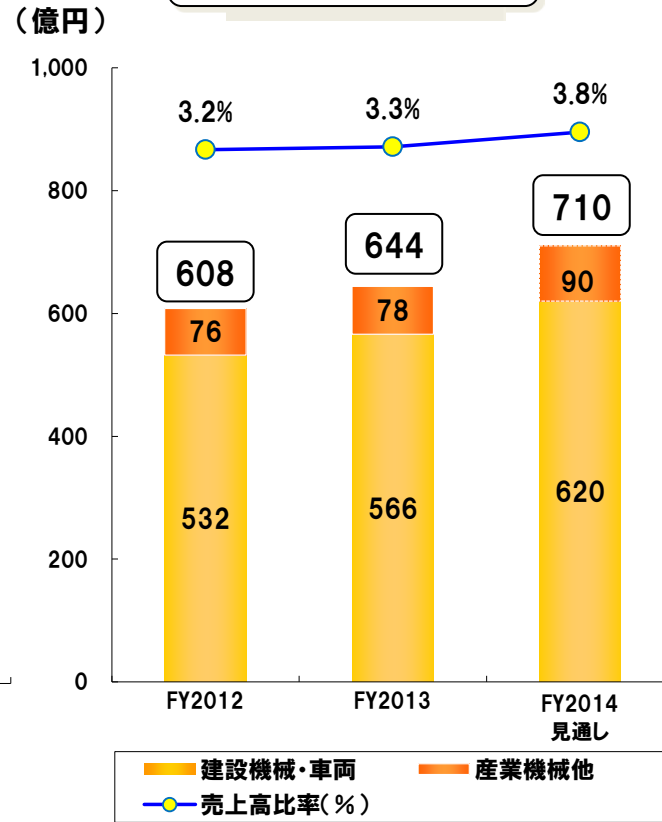
- ・設備投資は、生産改革や建屋更新等により、生産性向上と生産固定費低減を継続・推進。
- ・研究開発費は、排出ガス規制対応や、次世代商品開発のための開発投資を引き続き強化。
- ・固定費は、一定の水準を維持しつつ、将来の成長に必要な人材や資源に投資。

生産設備等*の投資
および減価償却費

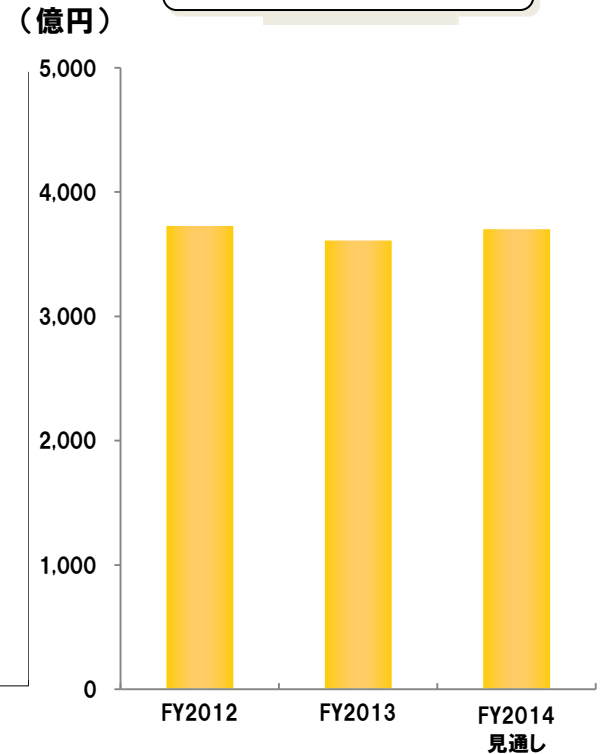
*レンタル資産投資は含まず



研究開発費



固定費



< 参考資料 >

2014年第4四半期(1-3月)の連結売上高と損益

30

☐:利益率 ():外部顧客向け売上高

金額単位:億円

	2013年1-3月 1ドル = 90.7円 1ユーロ = 120.1円 1元 = 14.6円		2014年1-3月 1ドル = 102.7円 1ユーロ = 139.9円 1元 = 16.9円		前年同期比	
					増減	増減率
売上高		5,344		5,641	+297	+5.6%
- 建設機械・車両		(4,713) 4,719		(5,008) 5,014	(+295) +295	(+6.3%) +6.3%
- 産業機械他		(630) 656		(632) 642	(+2) ▲13	(+0.4%) ▲2.1%
- 消去		▲32		▲15	+16	-
セグメント利益	☐ 11.8%	629	☐ 13.9%	784	+155	+24.7%
- 建設機械・車両	☐ 12.8%	605	☐ 15.5%	779	+174	+28.7%
- 産業機械他	☐ 3.7%	23	☐ 1.4% *1	9	▲14	▲61.8%
- 消去または全社		▲0		▲3	▲3	-
その他の営業収益(▲費用)		▲18		▲36	▲18	-
営業利益	☐ 11.4%	611	☐ 13.3%	748	+137	+22.5%
その他の収益(▲費用)		▲20		▲29	▲8	-
税引前純利益		590		719	+129	+21.9%
純利益*2		352		441	+89	+25.4%

*1 コマツNTCにおけるワイヤーソー在庫に係る損失▲32億円を含む。

*2 米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810の適用による「当社株主に帰属する四半期純利益」

2014年第4四半期(1-3月)の売上高内訳

31

1. 建設機械・車両(地域別: 外部顧客向け)

金額単位: 億円

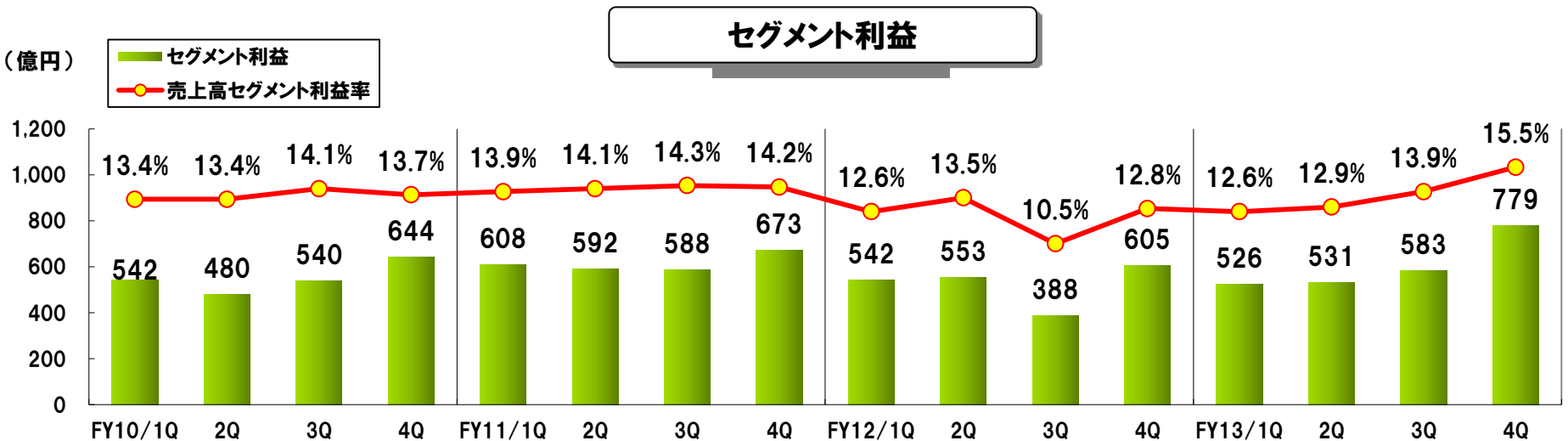
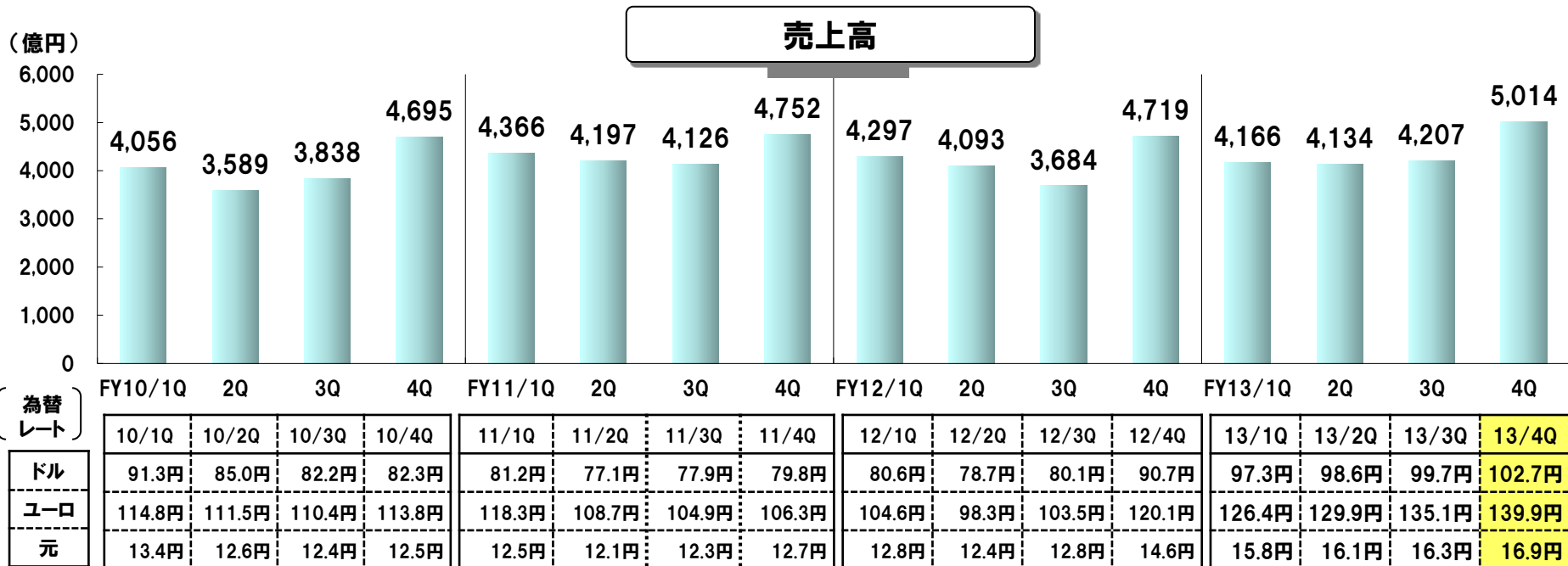
		2013年1-3月 1ドル = 90.7円 1ユーロ = 120.1円 1元 = 14.6円	2014年1-3月 1ドル = 102.7円 1ユーロ = 139.9円 1元 = 16.9円	前年同期比	
				増減	増減率
伝統市場	日本	842	965	+122	+14.5%
	北米	944	745	▲199	▲21.1%
	欧州	265	366	+100	+37.9%
戦略市場	中南米	635	830	+195	+30.7%
	CIS	238	166	▲71	▲30.2%
	中国	369	496	+127	+34.5%
	アジア	523	586	+62	+12.0%
	オセアニア	502	354	▲148	▲29.6%
	中近東	109	191	+81	+74.6%
	アフリカ	282	308	+26	+9.2%
合計		4,713	5,008	+295	+6.3%
うち、鉱山機械		1,570	1,523	▲47	▲3.0%

2. 産業機械他

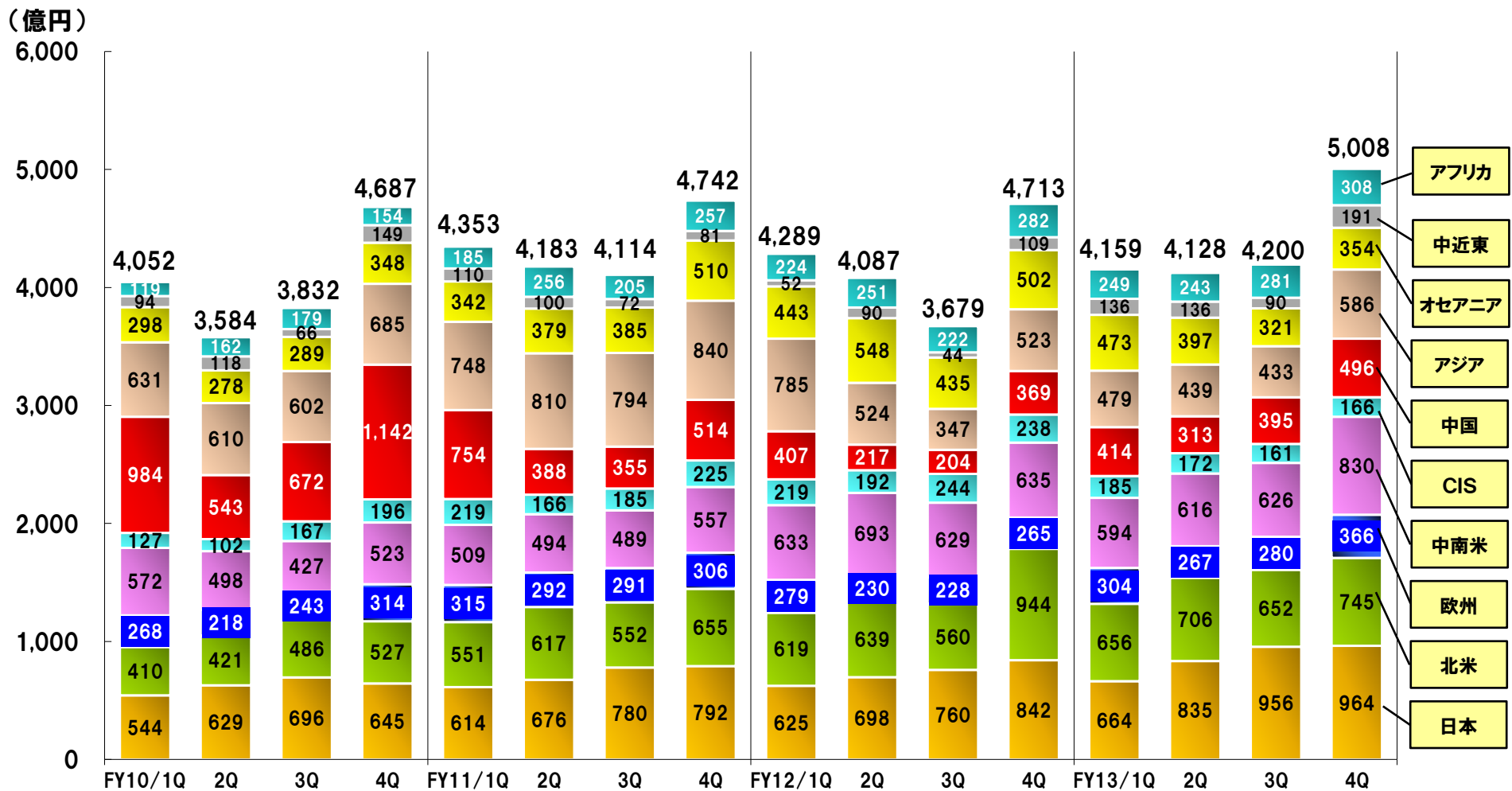
金額単位: 億円

		2013年1-3月	2014年1-3月	前年同期比	
				増減	増減率
コマツ産機等(板金鍛圧事業合計)		207	168	▲38	▲18.7%
コマツNTC [うち、ワイヤーソー]		207 [11]	261 [29]	+54 [+17]	+26.1% [+148.5%]
その他 [うち、ギガフォトン] [うち、コマツハウス]		241 [75] [57]	212 [64] [56]	▲29 [▲11] [▲0]	▲12.1% [▲14.7%] [▲1.4%]
合計		656	642	▲13	▲2.1%

＜建設機械・車両＞四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

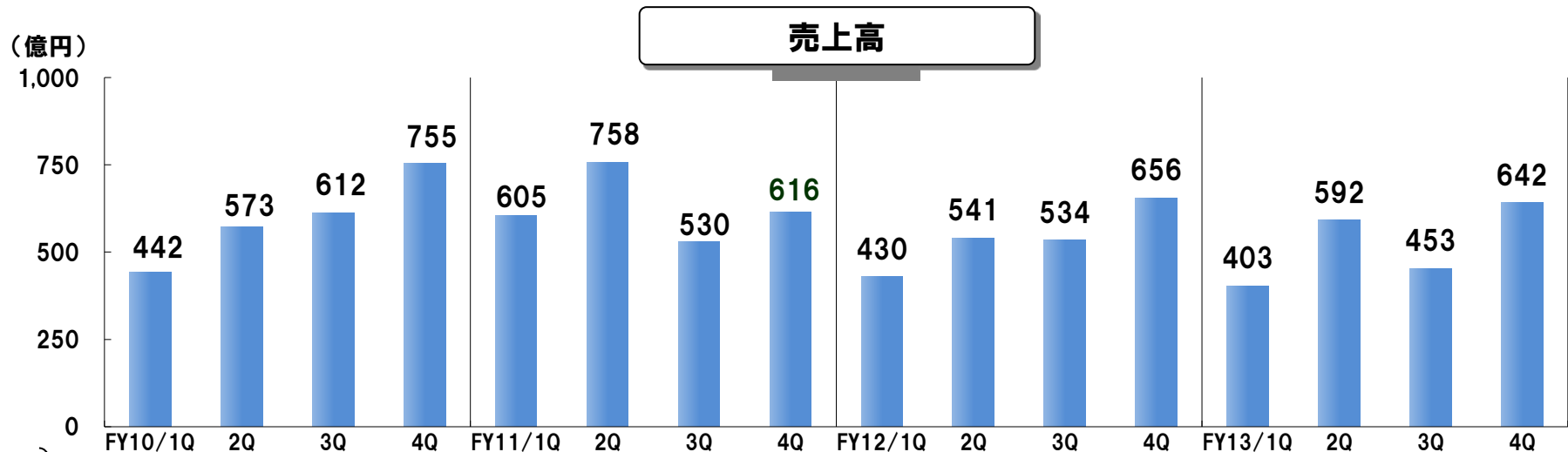


<建設機械・車両> 四半期毎の地域別売上高(外部顧客向け)



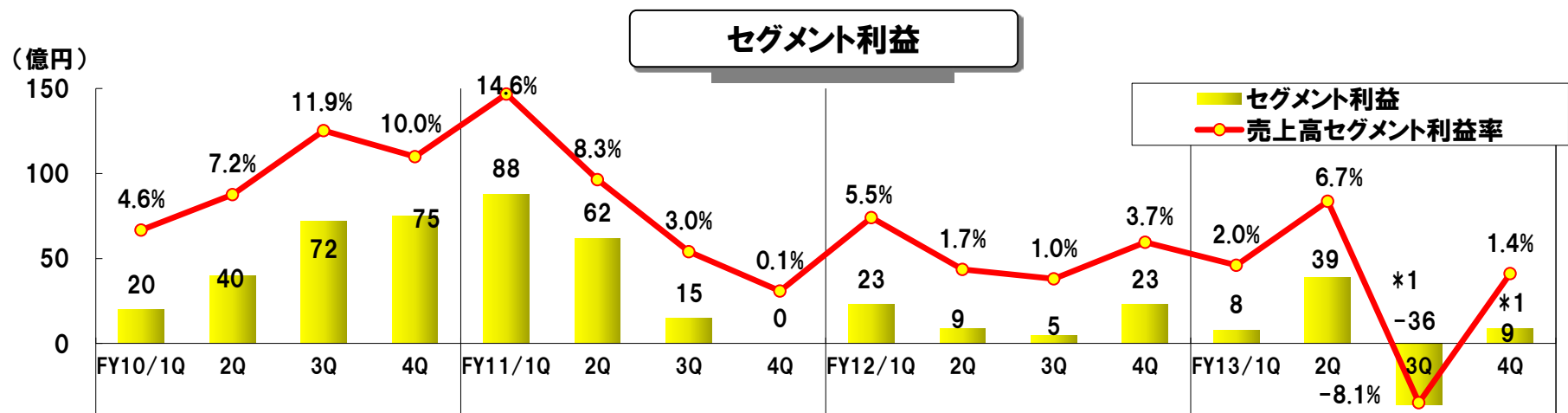
為替レート	10/1Q				11/1Q				12/1Q				13/1Q			
	10/1Q	10/2Q	10/3Q	10/4Q	11/1Q	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/4Q	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/4Q
ドル	91.3円	85.0円	82.2円	82.3円	81.2円	77.1円	77.9円	79.8円	80.6円	78.7円	80.1円	90.7円	97.3円	98.6円	99.7円	102.7円
ユーロ	114.8円	111.5円	110.4円	113.8円	118.3円	108.7円	104.9円	106.3円	104.6円	98.3円	103.5円	120.1円	126.4円	129.9円	135.1円	139.9円
元	13.4円	12.6円	12.4円	12.5円	12.5円	12.1円	12.3円	12.7円	12.8円	12.4円	12.8円	14.6円	15.8円	16.1円	16.3円	16.9円

<産業機械他> 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移



為替レート

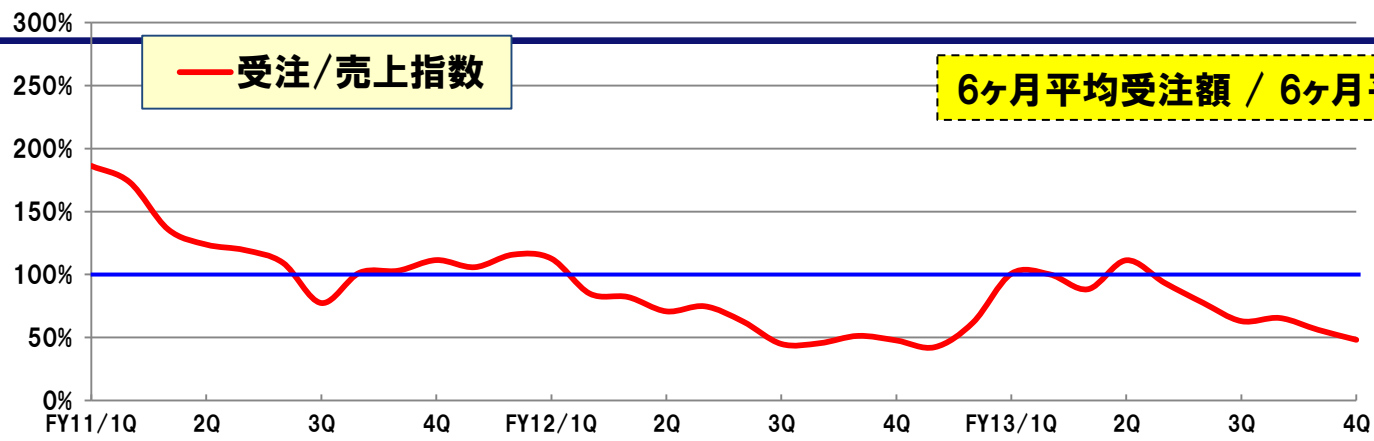
	10/1Q	10/2Q	10/3Q	10/4Q	11/1Q	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/4Q	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/4Q
ドル	91.3円	85.0円	82.2円	82.3円	81.2円	77.1円	77.9円	79.8円	80.6円	78.7円	80.1円	90.7円	97.3円	98.6円	99.7円	102.7円
ユーロ	114.8円	111.5円	110.4円	113.8円	118.3円	108.7円	104.9円	106.3円	104.6円	98.3円	103.5円	120.1円	126.4円	129.9円	135.1円	139.9円
元	13.4円	12.6円	12.4円	12.5円	12.5円	12.1円	12.3円	12.7円	12.8円	12.4円	12.8円	14.6円	15.8円	16.1円	16.3円	16.9円



*1 コマツNTCにおけるワイヤソー在庫に係る損失を含む(第3Q:▲76億円、第4Q:▲32億円)

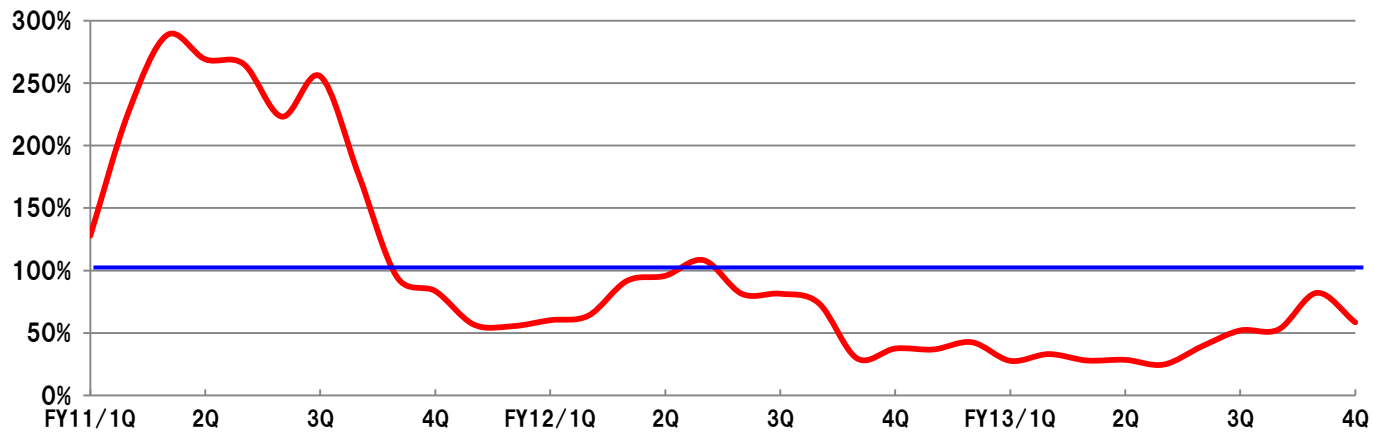
**コマツアメリカ
(マイニング)**

730E, 830E, 860E,
930E, 960E,



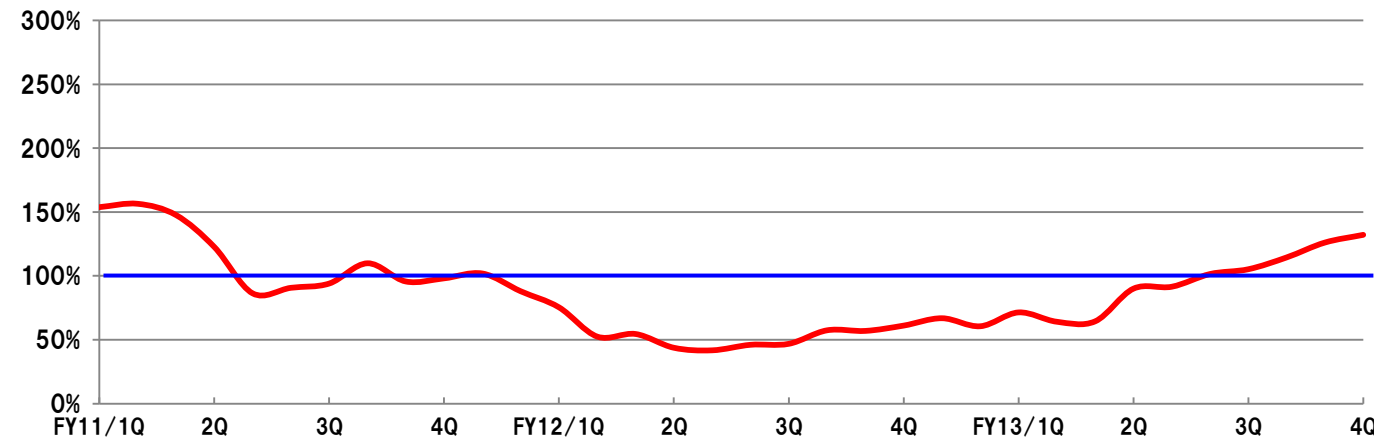
**コマツマイニング
ジャーマニー**

PC3000, PC4000
PC5500, PC8000



**コマツ単独
(マイニング)**

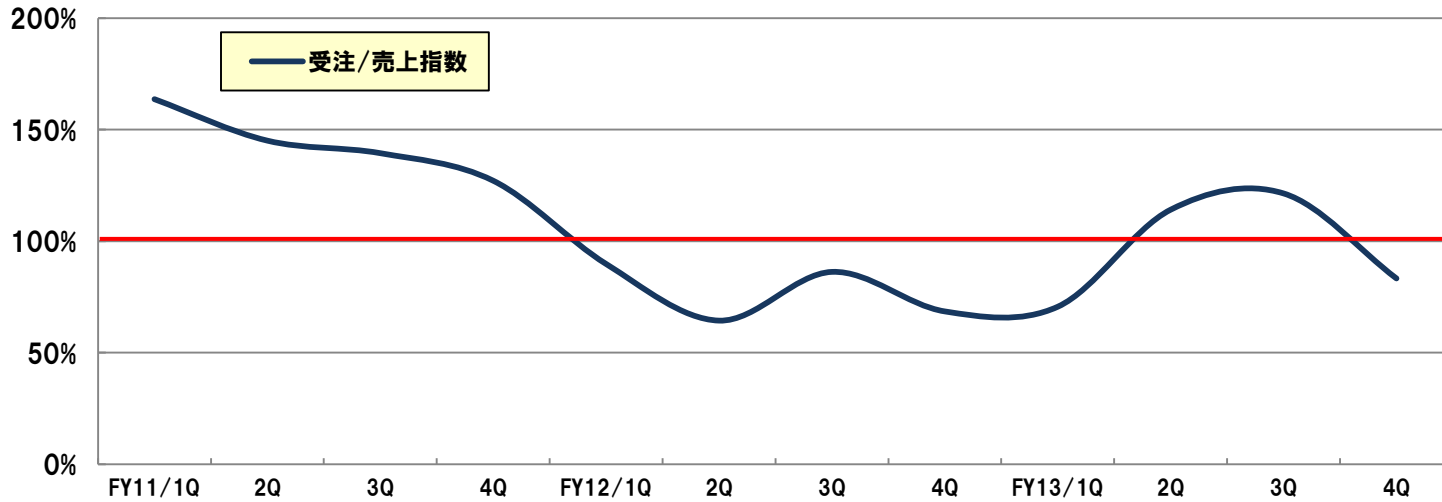
HD785, HD1500
PC2000, PC3000,
PC4000, WA800 up
D375A up
GD825A up



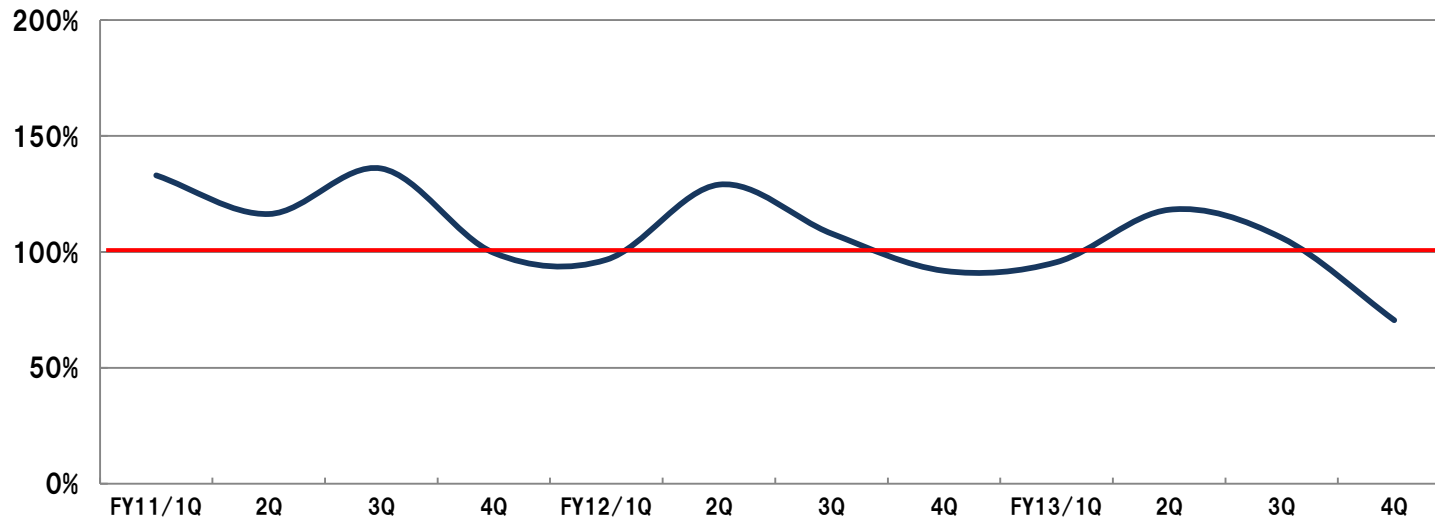
産業機械 受注/売上指数 (6ヶ月)

コマツ産機

6ヶ月平均受注額 / 6ヶ月平均出荷額



コマツNTC (除くワイヤーソー)





**5月に販売を開始する
新型バッテリーフォークリフト「FE25-1」**

【見通しに関する注記事項】

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。